

令和2年度
広島県内遺跡発掘調査（詳細分布調査）報告書

令和四年三月

令和4(2022)年3月
広島県教育委員会

例　　言

- 1 本書は、広島県教育委員会が、令和2年度に国庫補助を受けて実施した県内遺跡発掘調査（詳細分布調査）事業に係る調査成果の報告書である。
- 2 本事業は、道路建設・住宅建設・農業基盤整備等、今後急速に開発が進展すると予想される地域及び既に開発計画が立案されている地域について、遺跡の分布調査（現地踏査及び試掘・確認調査）を行い、保存対策に資する目的で実施したものである。
具体的には、①大規模開発事業・広域開発事業・重要遺跡の取扱いなど、市町教育委員会（以下「市町教委」という。）が単独で対応することが困難な業務への対応、②専門職員未配置の市町教委に対する指導・助言・援助の観点から、各開発事業者等あるいは市町教委からの協議に基づいて県内各地の開発計画地内の現地踏査や試掘・確認調査を実施し、埋蔵文化財包蔵地の有無、範囲、内容等の確認を行うとともに、保存方法に関する協議を行った。
- 3 第2～4・8・12図の試掘坑位置図の基図は、各開発事業者から提供された地形図・工事平面図を使用した。

なお、工事平面図については、原則として試掘当時のものを使用しているため、図中の開発事業範囲や工事設計等は、その後変更されている場合がある。

- 4 本事業に係る現地調査から報告書作成に至る業務は、広島県教育委員会事務局管理部文化財課が行った。担当者は次のとおりである。

現地調査・所見作成（令和2年度）沖 憲明（埋蔵文化財係長）、中山倫希江（指導主事），
村田 晋（主任）、和田 祐（主事）

資料整理・報告書編集（令和3年度）沖 憲明、村田 晋

- 5 調査の実施に当たっては、各開発事業者、地権者及び関係市町文化財保護担当部局等の協力を得た。

- 6 本報告書作成に係る資料類については、図面・写真類は広島県教育委員会事務局管理部文化財課（広島市中区基町9番42号）、出土遺物は広島県立埋蔵文化財センター（広島市西区觀音新町四丁目8番49号）で保管している。

目 次

第1章 事業の概要 1

第2章 試掘・確認調査の成果

1 一般国道183号鍵掛峠道路改良事業に係る試掘調査	3
(1) 要試掘地点No.8	4
(2) 残土処分場E箇所	5
(3) 残土処分場D箇所	6
2 広島市東部地区連続立体交差事業に係る試掘調査	24
3 農業競争力強化基盤整備事業（堀工区）に係る試掘調査	36

報告書抄録

挿 図 目 次

第1図 一般国道183号鍵掛峠道路改良事業に係る試掘調査地点位置図（1：25,000）	3
第2図 一般国道183号鍵掛峠道路改良事業計画地（要試掘地点No.8） 試掘坑位置図（1：1,500）	4
第3図 一般国道183号鍵掛峠道路改良事業計画地（残土処分場E箇所） 試掘坑位置図（1：1,000）	6
第4図 一般国道183号鍵掛峠道路改良事業計画地（残土処分場D箇所） 試掘坑位置図（1：1,000）	7
第5図 一般国道183号鍵掛峠道路改良事業計画地 (要試掘地点No.8, 残土処分場E箇所) 土層断面図（1：40）	16
第6図 一般国道183号鍵掛峠道路改良事業計画地 (残土処分場D箇所) 土層断面図（1：40）	17
第7図 広島市東部地区連続立体交差事業に係る試掘調査地点位置図（1：25,000）	24
第8図 広島市東部地区連続立体交差事業計画地 試掘坑位置図（1：2,500）	25
第9図 広島市東部地区連続立体交差事業計画地 土層断面図1（1：40）	29
第10図 広島市東部地区連続立体交差事業計画地 土層断面図2（1：40）	30
第11図 農業競争力強化基盤整備事業（堀工区）に係る 試掘調査地点位置図（1：25,000）	36
第12図 農業競争力強化基盤整備事業（堀工区）計画地試掘坑位置図（1：3,000）	37
第13図 農業競争力強化基盤整備事業（堀工区）計画地土層柱状対比図（1：30）	45 · 46
第14図 農業競争力強化基盤整備事業（堀工区）計画地土層断面図1（1：40）	47
第15図 農業競争力強化基盤整備事業（堀工区）計画地土層断面図2（1：40）	48
第16図 農業競争力強化基盤整備事業（堀工区）計画地土層断面図3（1：40）	49
第17図 農業競争力強化基盤整備事業（堀工区）計画地土層断面図4（1：40）	50

表 目 次

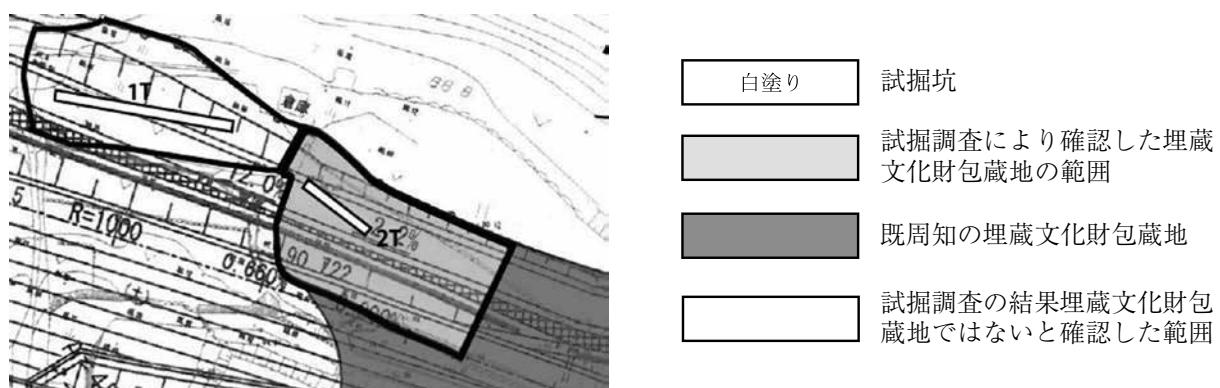
表1	令和2年度に確認した埋蔵文化財包蔵地	1
表2	令和2年度に実施した現地踏査等の概要	1
表3	令和2年度に実施した試掘調査等の概要	2
表4	一般国道183号鍵掛峠道路改良事業計画地試掘坑所見	7
表5	広島市東部地区連続立体交差事業計画地試掘坑所見	26
表6	農業競争力強化基盤整備事業（堀工区）計画地試掘坑所見	39

図版目次

図版1	a T 1 土層	b T 2 土層	c T 3 土層	
	d T 4 土層	e T 5 土層	f T 6 土層	
	g T 7 土層	h T 8 土層		18
図版2	a T 9 土層	b T 10 土層	c T 11 土層	
	d T 12 (南から)	e T 13 土層	f T 14 土層	
	g T 15 土層	h T 16 土層		19
図版3	a T 17 土層	b T 18 土層	c T 19 土層	
	d T 20 土層	e T 21 土層	f T 22 土層	
	g T 23 土層	h T 24 土層		20
図版4	a T 25 土層	b T 26 土層	c T 27 土層	
	d T 28 土層	e T 29 土層	f T 30 土層	
	g T 31 土層	h T 32 土層		21
図版5	a T 33 土層	b T 34 土層	c T 35 土層	
	d T 36 土層	e T 37 土層	f T 38 土層	
	g T 39 土層	h T 40 土層		22
図版6	a T 41 土層	b T 42 土層	c T 43 (北西から)	
	d T 44 土層			23
図版7	a T 1 (北西から)	b T 1 土層	c T 2 (南東から)	31
図版8	a T 3 (南東から)	b T 3 木炭・竹炭層 (17層), 貝層 (19層)		
	c T 3 遺構検出状況 (南から)			32
図版9	a T 4 (南東から)	b T 4 石組検出状況 (南東から)		
	c T 4 推定壁土廃棄状況			33
図版10	a T 5 土層	b T 6 土層	c T 7 (南西から)	34
図版11	a T 7 土層	b T 7 硬化層 (19・20層)	c T 7 推定壁土廃棄状況	35
図版12	a 1 T (東から)	b 2 T (東から)	c 3 T (南から)	51
図版13	a 4 T (北から)	b 6 T (北から)	c 6 T 土層	52

図版14	a 7T土層	b 8T-1土層	c 8T-2土層	
	d 8T-2地山岩盤加工状況（北西から）			53
図版15	a 9T-1土層	b 9T-1地山岩盤加工状況（南西から）		
	c 9T-2土層	d 9T-2地山岩盤加工状況（南西から）		
	e 6T～9T遠景（北西から）	f 10T（南西から）		54
図版16	a 11T-1（南西から）	b 11T-1土層		
	c 11T-2（南東から）	d 11T-2土層		55
図版17	a 19T-1（北西から）	b 19T-1土層		56
図版18	a 19T-2（北西から）	b 19T-2土層（中央）		
	c 19T-2土層（西端）	d 19T-2地山岩盤加工状況（北東から）		57
図版19	a 19T-3（北西から）	b 19T-3土層（東端）		
	c 19T-3地山岩盤加工状況（北西から）			58
図版20	a 20T-1（東から）	b 20T-2（北東から）		
	c 19T～20T遠景（北西から）			59
図版21	a 22T-1（南東から）	b 22T-1土層		
	c 22T-2（南西から）	d 22T-2（南東から）		60
図版22	a 23T（南西から）	b 23T近代暗渠（南から）	c 23T土層	
	d 24T（南東から）	e 24T土層		61

試掘坑位置図凡例



第1章 事業の概要

1 令和2年度に実施した分布調査の概要について

令和2年度に実施した、道路建設等の各種開発事業に先立つ現地踏査や現地協議等は、表2に掲げた27件である。

また、令和2年度に実施した試掘・確認調査は、表3に掲げた3事業5地点、合計73,900.6m²である。

これらの分布調査及び試掘・確認調査の結果、表1に掲げた埋蔵文化財包蔵地を確認した。試掘調査の内容や確認した埋蔵文化財包蔵地の範囲等の詳細については、次章に記載する。

表1 令和2年度に確認した埋蔵文化財包蔵地

遺跡名	市町名	時代	種類	面積（m ² ）	確認方法	開発事業種類	備考
海田市町屋跡	海田町	近世	集落跡	3,722	試掘調査	鉄道	新規発見
御園宇城跡	東広島市	中世	城跡	3,033	試掘調査	農業基盤整備事業	

表2 令和2年度に実施した現地踏査等の概要

No.	調査地	調査原因	原因者	調査期間	担当者名	用務内容
1	熊野町 神石高原町	その他建物 住宅	民間企業 個人	4/23	中山倫希江	専門職員未配置市町における開発事業対応 (現地踏査) を支援
2	東広島市	道路	国土交通省	5/21	中山倫希江	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議 (現地協議)
3	府中町	鉄道	広島県	5/22	和田 祐	専門職員未配置市町における開発事業対応 (工事立会) を支援
4	府中町	鉄道	広島県	5/25～ 5/27	和田 祐	専門職員未配置市町における開発事業対応 (工事立会) を支援
5	福山市	道路	広島県	5/26	中山倫希江	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議 (現地協議)
6	安芸太田町	電話	民間企業	5/27	中山倫希江	専門職員未配置市町における開発事業対応 (現地踏査) を支援
7	庄原市	道路	国土交通省	6/2	村田 晋 和田 祐	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議 (現地協議)
8	熊野町	ガス・電気・水道等 (電気) 個人住宅 その他開発	民間企業 民間企業 広島県	7/2	中山倫希江	専門職員未配置市町における開発事業対応 (現地踏査) を支援
9	大竹市	個人住宅	民間企業	7/3	村田 晋	専門職員未配置市町における開発事業対応 (現地踏査) を支援
10	大竹市	個人住宅	民間企業	7/15	中山倫希江 村田 晋	専門職員未配置市町における開発事業対応 (試掘調査) を支援
11	呉市 熊野町	道路 住宅 ガス・電気・水道等 (電気)	西日本高速 道路(株) 個人 民間企業	8/6	沖 憲明 中山倫希江	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議 (現地協議) 専門職員未配置市町における開発事業対応 (現地踏査) を支援
12	世羅町	農業基盤整備事業	広島県	8/17	中山倫希江	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議 (現地協議)
13	三次市	災害復旧	個人	9/10	沖 憲明	重要遺跡取扱い協議

No.	調査地	調査原因	原因者	調査期間	担当者名	用務内容
14	福山市	道路	国土交通省	9/18	中山倫希江	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（現地協議）
15	海田町	鉄道	広島県	9/29	中山倫希江 村田 晋	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（現地協議）
16	江田島市	ガス・電気・水道等(電話)	民間企業	9/30	中山倫希江	専門職員未配置市町における開発事業対応（現地踏査）を支援
17	三次市	史跡寺町廃寺跡発掘調査	三次市	10/15	村田 晋	重要遺跡取扱い協議
18	神石高原町	ガス・電気・水道等(電気)	民間企業	11/10	中山倫希江	専門職員未配置市町における開発事業対応（現地踏査）を支援
19	東広島市	農業基盤整備事業	広島県	11/18	中山倫希江 村田 晋	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（現地協議）
20	庄原市	佐田谷・佐田峠墳墓群取扱い協議	庄原市	12/21～12/22	村田 晋	重要遺跡取扱い協議
21	東広島市	道路	国土交通省	12/23	中山倫希江	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（現地協議）
22	東広島市	道路	国土交通省	1/12	沖 憲明 中山倫希江	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（現地協議）
23	東広島市	佐田谷・佐田峠墳墓群取扱い協議	庄原市 広島大学	1/13	村田 晋	重要遺跡取扱い協議
24	竹原市	道路	広島県	1/14	沖 憲明 中山倫希江	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（現地協議）
25	安芸太田町	ガス・電気・水道等(電気)	民間企業	2/26	沖 憲明 中山倫希江	専門職員未配置市町における開発事業対応（現地踏査）を支援
26	福山市	県史跡松本古墳ほか発掘調査	福山市	3/4	中山倫希江	重要遺跡取扱い協議
27	三次市 庄原市	史跡寺町廃寺跡、佐田谷・佐田峠墳墓群ほか取扱い協議	三次市 庄原市	3/24～3/25	村田 晋	重要遺跡取扱い協議

表3 令和2年度に実施した試掘調査等の概要

No.	調査地	調査原因	原因者	調査対象面積	調査期間	担当者名	用務内容
1	庄原市	道路	国土交通省	47,630m ²	6/8～6/12	村田 晋 和田 祐	3 地点の試掘調査を実施したが、埋蔵文化財包蔵地は確認出来なかった。
					6/15～6/19	村田 晋 和田 祐	
					7/28～7/31	村田 晋 和田 祐	
2	海田町	鉄道	広島県	3,532.6m ²	11/25	中山倫希江 村田 晋	1 地点の試掘調査を実施し、1か所の埋蔵文化財包蔵地を確認した。
					11/26～11/27	村田 晋 和田 祐	
					11/30～12/1	村田 晋 和田 祐	
3	東広島市	農業基盤整備事業	広島県	22,738m ²	3/8	沖 憲明 中山倫希江 村田 晋	1 地点の試掘調査を実施し、1か所の埋蔵文化財包蔵地を確認した。
					3/9～3/12	中山倫希江 村田 晋	
					3/15	中山倫希江 村田 晋	
合計		3事業		73,900.6m ²			5地点の試掘調査を実施し、2か所の埋蔵文化財包蔵地を確認した。

第2章 試掘・確認調査の成果

1 一般国道183号鍵掛峠道路改良事業に係る試掘調査

所 在 地：庄原市西城町高尾～三坂地内

調 査 目 的：一般国道183号鍵掛峠道路改良事業に係る埋蔵文化財の有無及び範囲確認

開 発 事 業 者：国土交通省中国地方整備局三次河川国道事務所

調 査 年 月 日：令和2年6月8日～12日、6月15日～19日、7月28日～31日

調 査 対 象 面 積：47,630m²

調 査 結 果：埋蔵文化財包蔵地は確認できなかった。

調 査 概 要：

試掘調査は、要試掘地点11か所のうちNo.8と、残土処分場D箇所及びE箇所を対象として実施した。調査地は県北東端部の鳥取県との境に近い山間地帯であり、『広島県遺跡地図』（広島県教育委員会HPで公開中）から確認できる近隣の周知の埋蔵文化財は、近世の製鉄関連遺跡である金屋子たら跡、猫山北たら跡（いずれも庄原市西城町三坂）の2か所と少ない。



第1図 一般国道183号鍵掛峠道路改良事業に係る試掘調査地点位置図 (1:25,000)
(国土地理院1:25,000地形図「道後山」図幅を使用)

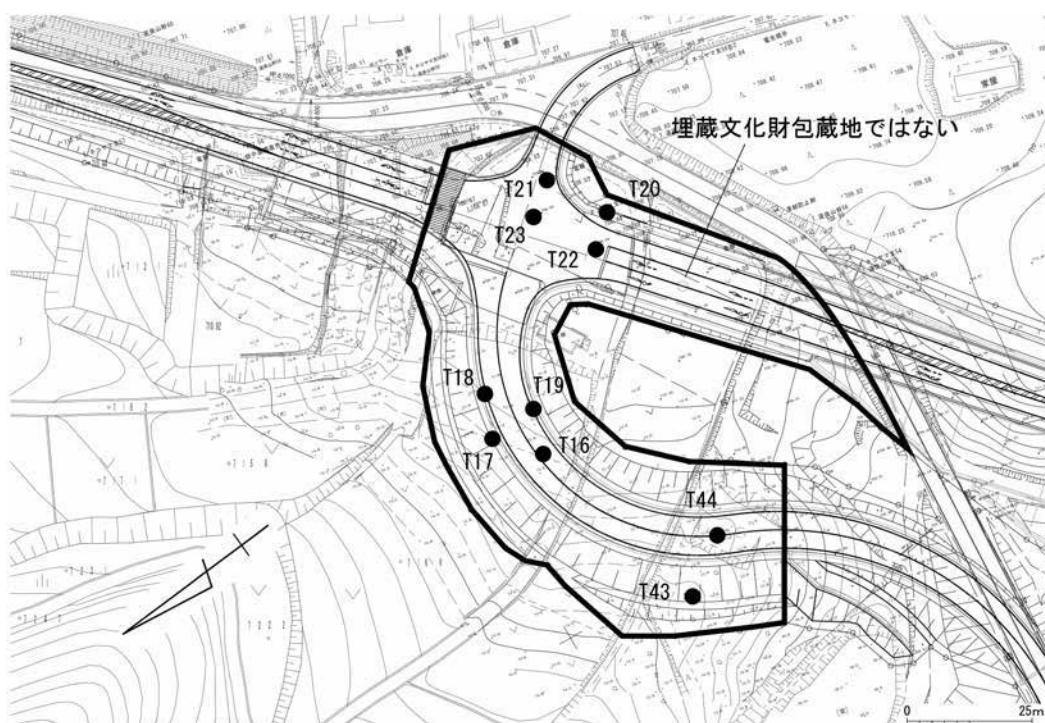
一般国道183号鍵掛峠道路改良事業に係る試掘調査については、平成27年度に要試掘地点No.1南半、平成28年度に要試掘地点No.4・5・6・11、平成29年度に要試掘地点No.1北半・2・3・7において実施しているが、埋蔵文化財は確認されていない。

以下、今回の調査概要を地点ごとに記述する。

(1) 要試掘地点No.8

一般国道183号線の北西側に接する畠地であり、南東側は平坦地、北西側は調査区外北側の丘陵から続く緩斜面地となっている。本地点の北半部分は畠耕作や倉庫建設に伴う用地造成による地形改変を受けているが、近隣における埋蔵文化財の調査例がなく、特に地形改変の影響が少ない北西側の緩斜面地については住居跡等の集落関連遺構が存在する可能性があったため、試掘調査を実施した。

T16・T17は調査地北西側緩斜面地において等高線に平行する方向に、T18・T19は等高線に直行する方向に設定した。基本層序は、表土の下に旧耕作土と廃棄された木根等を含む客土が堆積し、その下に地山直上の灰黄褐色土層、地山と続いている。客土・旧耕作土の堆積に加え、後述の残土処分場2地点や近隣各所において表土直下にみられる黒ボク土がT16～T19では確認できること、地山を直接耕作機械が掘り込んだとみられる箇所がT16・T17で確認できることから、事前の地表観察から想定したよりも大規模に地形が削られていることがわかった。T16～T19において、遺構・遺物は確認できなかった。T20・T21・T22・T23は調査地南東側平坦地において設定した。試掘坑4か所のうちT20・T22では地表下140～160cmの深さまで掘削したが、流入土が6層以上にわたって厚く堆積しており地山を確認することができなかった。一方、北西端のT23では地表下40cmの深さで地山を確認した。平坦地の北西側から南東側にかけて地山の検出レベルが急激に下がることから、平坦地



第2図 一般国道183号鍵掛峠道路改良事業計画地（要試掘地点No.8）試掘坑位置図（1：1,500）

の南東側からさらに外方にかけての本来の地形は谷であり、集落関連遺構の立地に適さないと考えられる。なお、T21では地表下130cmの湧水がある深さまで客土が堆積しており、改変の程度がより大きかった。T20～T23において、遺構・遺物は確認できなかった。

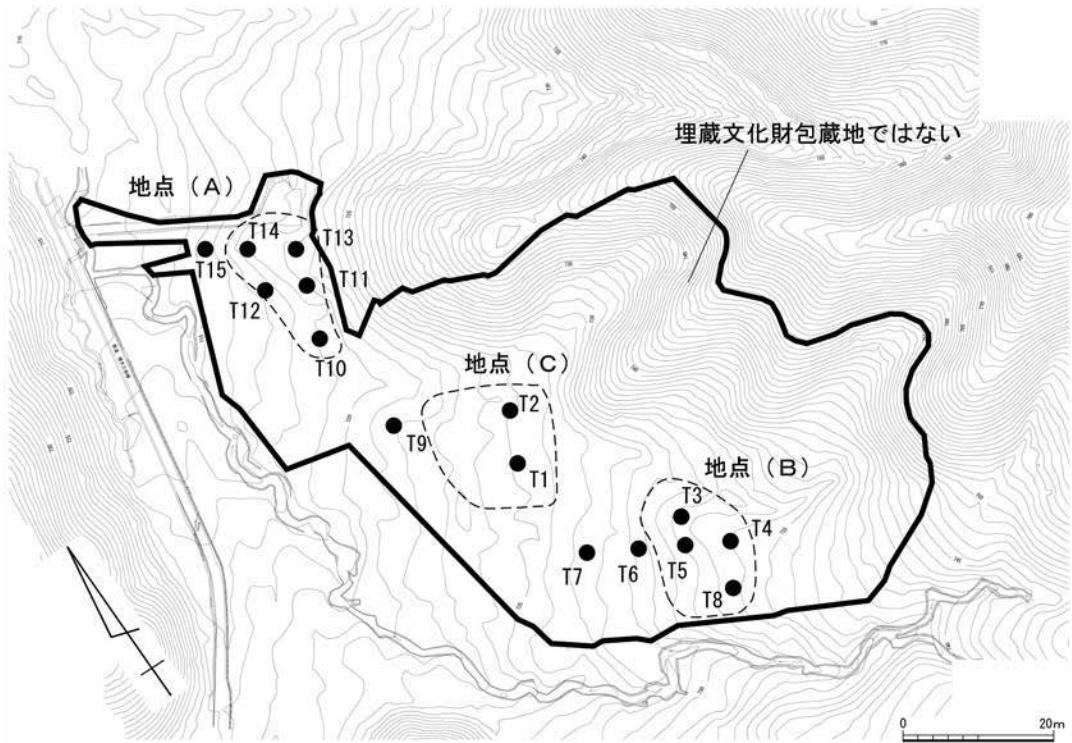
要試掘地点No.8の南西部については、踏査の結果、墳墓等の立地傾向がある南向きの丘陵舌状部が地形改変を受けずに残存しており遺構の存在が否定できなかったことから、樹木伐開後に試掘調査を実施した。調査地は過去の果樹園造成によって大部分が地形改変を受けていたため、自然地形が比較的良好に残っていると推定された部分にT43・T44の試掘坑2か所を設定し、人力掘削により遺構の有無を精査した。T43では表土、黒色シルト質土（黒ボク土）、黒褐色シルト質土、明黄褐色シルト質土（地山）の堆積を確認した。表土直下の黒ボク土が約60cmの厚さで堆積していたことから、T43周辺は地形改変をほとんど受けていないと考えられるが、遺構・遺物は確認できなかった。T44では表土、黒色シルト質土（果樹園造成時耕作土）、黒褐色シルト質土、明黄褐色砂質土（地山）の堆積を確認した。T43で表土直下にみられた黒ボク土が確認できず、黒褐色シルト質土上面が水平に削られていることから、T44周辺の地形は大きく削平を受けていると考えられる。遺構・遺物は確認できなかった。

以上、計10か所の試掘坑によって埋蔵文化財の有無を精査したが、遺構・遺物は確認できず、要試掘地点No.8は埋蔵文化財包蔵地にあたらないと判断した。

(2) 残土処分場E箇所

広島県道446号植木三坂線の東に位置する林地であり、南東側の山の裾部にあたる緩斜面地である。本地点には、隣接地に製鉄関連遺構が確認されており現地踏査時に地表面に鉄滓が観察されていた地点（A）、土器細片が観察された地点（B）、遺構の立地する可能性がある平坦面（C）が含まれており、製鉄関連遺構等が存在する可能性があったため、試掘調査を実施した。

（A）の鉄滓が地表に観察できる地点周辺をT10～T15の試掘坑6か所によって精査したが、基本層序として表土、黒色土、間層、地山からなる自然堆積を確認したのみで、遺構や鉄滓等の遺物は確認できなかった。地表に観察した鉄滓については、調査地外東側に隣接する丘陵上に製鉄関連遺構の存在が想定されることから、当該丘陵上を通る林道の建設時に遺構が削られ、土砂に混じって丘陵下方の調査地内まで流れてきたものと推定できる。また、東側の丘陵と近く、遺構が存在する可能性が特に高いと想定していたT13においては、地表から地山までの深さが26cmと極端に浅かったことから、流れ込んできた土の上位がさらに削平されていると考えられる。（B）の土器細片が観察された地点周辺をT3～T8の試掘坑6か所によって精査したが、基本層序として表土、黒色土、間層、地山からなる自然堆積を確認したのみで、遺構・遺物は確認できなかった。伐開範囲外も含めて追加踏査も実施したが、他の土器片等は一切確認できず、観察できた土器細片の出所は不明である。後述のように調査地内は現代に入ってから地形改変を受けている可能性が高く、工事に伴って調査地外から持ち込まれた可能性が高い。（C）の平坦面周辺をT1・T2・T9の試掘坑3か所によって精査したが、他の地点とは堆積状況が異なり、表土、黒色土の下層には上方からの流入土と考えられる土が複数層にわたって堆積しており、T2では地表下90cmで湧水があった。以上のことから、（C）周辺は現状



第3図 一般国道183号鍵掛峠道路改良事業計画地（残土処分場E箇所）試掘坑位置図（1：1,000）

では平坦地となっているが、本来は南東側の山から頻繁に土が流れ込み、かつ水が湧く地盤の安定しない土地と考えられ、遺構の立地には適さないと考えられる。調査地内各所には空き缶や単管、炭化物やビニール等の散布がみられたほか、調査地内の樹木が概ね樹高4mを超えない若い木々であることから、伐開等のため、現代に入って調査地内に人が複数回立ち入っており、調査地内の地形は改変を受けている可能性が高い。

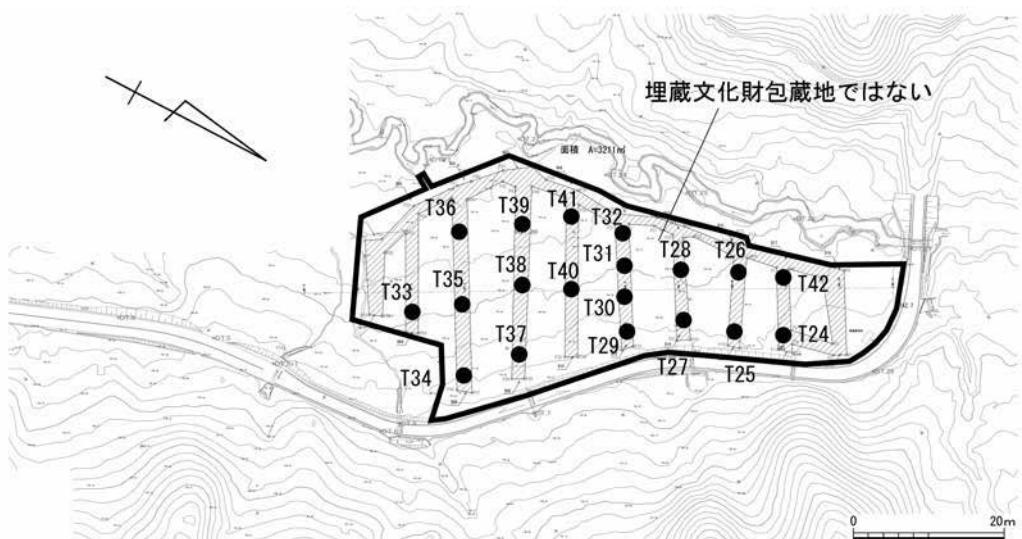
以上、残土処分場E箇所では計15か所の試掘坑によって埋蔵文化財の有無を精査したが、①遺構・遺物が確認できなかったこと、②地表に観察した鉄滓・土器細片が調査地外から流入した、もしくは持ち込まれたものと判断できることから、本地点は埋蔵文化財包蔵地にあたらないと判断した。

(3) 残土処分場D箇所

道後山高原クロカンパークの北西に位置する林地である。大きくは北東側の山から南西側の沢に向かって下降する緩斜面地であり、調査地はさらに、南に向かって段々に下降する地形となっている。本地点では、現地踏査時に地表面に鉄滓が観察されており、製鉄関連遺跡が存在する可能性があった。

鉄滓が地表に観察できる周囲をT24～T31・T42の試掘坑9か所によって精査したが、T27の表土中に鉄滓を確認した以外、遺構・遺物は確認できなかった。T32～T41においても、遺構・遺物は確認できなかった。

T31で表土下層から大量の根や生木の丸太を含む客土を確認したほか、調査地内各所に炭化物やビニール等の散布がみられたことから、現代に入って調査地内に人が複数回立ち入っており、調査地内の地形は改変を受けている可能性が高い。また、調査地北東に接する道路建設による地形への影響も想定される。地表に観察できた鉄滓については、T27及び進入路周辺での局所的な散布に留まり、T



第4図 一般国道183号鍵掛峠道路改良事業計画地（残土処分場D箇所）試掘坑位置図（1：1,000）

27以外では出土しなかった。そのため、これらの鉄滓は調査地外から流入したか、客土等に混じって持ち込まれたなど、本地点には本来存在しないものであると判断した。

土層の堆積状況は各所によって異なるが、いずれの試掘坑でも地山由来の砂礫を含む流土が複数層にわたって厚く堆積しており、T37でのみ地表下116cmの深さで地山を確認した。また、いずれの試掘坑においても、一定の深さまで掘削すると湧水があった。このことから、残土処分場D箇所は本来は北東側の山から頻繁に土が流れ込み、水が湧く地盤の安定しない土地であり、遺構の立地には適さないと考えられる。

以上、残土処分場D箇所では計19か所の試掘坑によって埋蔵文化財の有無を精査したが、①遺構・遺物が確認できなかったこと、②地表に観察した鉄滓が調査地外から流入した、もしくは持ち込まれたものと判断できること、③土層の堆積及び湧水の状況からみて本地点が遺構の立地に適さないと考えられることから、本地点は埋蔵文化財包蔵地にあたらないと判断した。

表4 一般国道183号鍵掛峠道路改良事業計画地試掘坑所見

トレンチ No.	規模（長さ×幅 ×最大深さ、単 位m）	調査所見
要試掘地点No.8 (T16~T23・T43・T44)		
T16	7.0×1×0.5	〈遺構・遺物なし〉 1層 表土（現地表面～現地表下10cm） 2・3層 耕作土（現地表下10～38cm） 4層 黄橙色粘質土 地山（10YR8/6, 現地表下38～50cmまで確認）
T17	6.0×1×0.5	〈遺構・遺物なし〉 1層 表土（現地表面～現地表下10cm） 2～4層 耕作土（現地表下10～30cm） 5層 黄橙色砂質土 花崗岩含む 地山（10YR8/6, 現地表下30～50cmまで確認）

トレシチ No.	規模（長さ×幅 ×最大深さ、単 位m）	調査所見
T18	9.0×1×0.56	〈遺構・遺物なし〉 1層 表土（現地表面～現地表下10cm） 2・3層 耕作土（現地表下10～40cm） 4層 灰黄褐色シルト質土 しまり強 細砂混（10YR4/2, 現地表下40～50cm） 5層 黄橙色砂質土 花崗岩含む 地山（10YR8/6, 現地表下50～56cmまで確認）
T19	10.0×1×0.4	〈遺構・遺物なし〉 1層 表土（現地表面～現地表下10cm） 2～4層 耕作土（現地表下10～36cm） 5層 黄橙色粘質土 地山（10YR8/6, 現地表下36～40cmまで確認）
T20	4.0×1×1.6	〈遺構・遺物なし〉 1層 表土（現地表面～現地表下20cm） 2層 黒色シルト質土 根混 黒ボク（2.5Y2/1, 現地表下20～40cm） 3層 黒色シルト質土（2.5Y2/1, 現地表下40～70cm） 4層 黒色シルト質土 細砂混（2.5Y2/1, 現地表下70～80cm） 5層 暗灰黄色砂質土（2.5Y4/2, 現地表下80～90cm） 6層 暗灰黄色シルト質土 しまり強 細砂混（2.5Y5/2, 現地表下90～100cm） 7層 黒色シルト質土（2.5Y2/1, 現地表下100～126cm） 8層 黑褐色シルト質土 細砂混（2.5Y3/2, 現地表下126～136cm） 9層 オリーブ褐色砂質土（2.5Y4/4, 現地表下136～140cm） 10層 黑色粘質土 湧水（2.5Y2/1, 現地表下140～152cm） 11層 黑褐色粘質土（2.5Y3/2, 現地表下152～160cmまで確認。以下湧水）
T21	2.0×1×1.3	〈遺構・遺物なし〉 1層 表土（現地表面～現地表下16cm） 2～4層 現代客土（現地表下16～130cmまで確認。以下湧水）
T22	4.0×1×1.4	〈遺構・遺物なし〉 1層 表土（現地表面～現地表下20cm） 2層 黒色シルト質土 根混 黒ボク（2.5Y2/1, 現地表下20～40cm） 3層 黒色シルト質土（2.5Y2/1, 現地表下40～50cm） 4層 黒色シルト質土 細砂混（2.5Y2/1, 現地表下50～86cm） 5層 暗灰黄色砂質土 しまり強（2.5Y4/2, 現地表下86～90cm） 6層 黒色シルト質土（2.5Y2/1, 現地表下90～106cm） 7層 黑褐色シルト質土 しまり強 細砂混（2.5Y3/1, 現地表下106～120cm） 8層 黑色シルト質土（2.5Y2/1, 現地表下120～140cmまで確認）
T23	3.0×1×0.56	〈遺構・遺物なし〉 1層 表土（現地表面～現地表下10cm） 2層 黒色シルト質土 黒ボク由来（10YR2/1, 現地表下10～22cm） 3層 暗オリーブ褐色シルト質土 細砂混（2.5Y3/3, 現地表下22～40cm） 4層 黄橙色砂質土 地山（10YR8/6, 現地表下40～56cmまで確認）

トレンチ No.	規模（長さ×幅 ×最大深さ、単 位m）	調査所見
T43	2.0×1×0.8	<p>〈遺構・遺物なし〉</p> <p>1層 表土（現地表面～現地表下10cm）</p> <p>2層 黒色シルト質土 黒ボク（5Y2/1, 現地表下10～68cm）</p> <p>3層 黒褐色シルト質土 細砂混（2.5Y3/1, 現地表下68～74cm）</p> <p>4層 明黄褐色シルト質土 細砂混（10YR6/6, 現地表下74～80cmまで確認）</p>
T44	1.0×1×0.3	<p>〈遺構・遺物なし〉</p> <p>1層 表土（現地表面～現地表下8cm）</p> <p>2層 黒色シルト質土（10YR1.7/1, 現地表下8～16cm）</p> <p>3層 黒褐色シルト質土 細砂混（2.5Y3/1, 現地表下16～30cmまで確認）</p> <p>4層 明黄褐色砂質土 風化花崗岩 地山（10YR6/6, 現地表下14～30cmまで確認）</p>
残土処分場E箇所（T 1～T15）		
T 1	3.0×1×0.9	<p>〈遺構・遺物なし〉</p> <p>1層 表土（現地表面～現地表下10cm）</p> <p>2層 黒色シルト質土 黒ボク（7.5Y2/1, 現地表下10～34cm）</p> <p>3層 オリーブ黒色砂質土 しまり強 地山ブロック混（7.5Y3/2, 現地表下34～58cm）</p> <p>4層 黒色シルト質土（10Y2/1, 現地表下58～64cm）</p> <p>5層 オリーブ黒色砂質土 しまり強 地山ブロック混（7.5Y3/1, 現地表下64～70cm）</p> <p>6層 オリーブ灰色砂質土 しまり強（7.5Y5/3, 現地表下70～74cm）</p> <p>7層 黒色シルト質土 しまり強（7.5Y2/1, 現地表下74～90cmまで確認）</p>
T 2	10.0×1×0.9	<p>〈遺構・遺物なし〉</p> <p>1層 表土（現地表面～現地表下10cm）</p> <p>2層 黒色シルト質土 黒ボク（7.5Y2/1, 現地表下10～30cm）</p> <p>3層 黒色シルト質土 細砂混（7.5Y2/1, 現地表下30～36cm）</p> <p>4層 オリーブ黒色砂質土 しまり強 地山ブロック混（7.5Y3/2, 現地表下36～46cm）</p> <p>5層 黒色シルト質土 しまり強（10Y2/1, 現地表下46～52cm）</p> <p>6層 オリーブ灰色砂質土（7.5Y4/2, 現地表下52～54cm）</p> <p>7層 オリーブ黒色砂質土 しまり強 地山ブロック混（7.5Y3/1, 現地表下54～60cm）</p> <p>8層 オリーブ灰色砂質土 しまり強（7.5Y5/3, 現地表下60～64cm）</p> <p>9層 黒色シルト質土 しまり強（7.5Y2/1, 現地表下64～74cm）</p> <p>10層 オリーブ黒色砂質土（7.5Y3/1, 現地表下74～84cm）</p> <p>11層 黒色粘質土（7.5Y2/1, 現地表下84～90cmまで確認。以下湧水）</p>
T 3	6.0×1×0.9	<p>〈遺構・遺物なし〉</p> <p>1層 表土（現地表面～現地表下16cm）</p> <p>2層 黒色シルト質土 黒ボク（2.5Y2/1, 現地表下16～60cm）</p> <p>3層 黑褐色シルト質土 地山ブロック混（2.5Y3/1, 現地表下60～66cm）</p> <p>4層 オリーブ褐色粘質土 花崗岩風化土 地山（2.5Y4/6, 現地表下66～90cmまで確認）</p>

トレシチ No.	規模（長さ×幅 ×最大深さ、単 位m）	調査所見
T 4	5.0×1×1.0	〈遺構・遺物なし〉 1層 表土（現地表面～現地表下6cm） 2層 黒褐色シルト質土 地山ブロック混（2.5Y3/1, 現地表下6～14cm） 3層 黒色シルト質土 しまり強 黒ボク（10YR1.7/1, 現地表下14～50cm） 4層 明黄褐色シルト質土 地山（10YR6/6, 現地表下50～100cmまで確認）
T 5	4.0×1×0.9	〈遺構・遺物なし〉 1層 表土（現地表面～現地表下20cm） 2層 黒色シルト質土 黒ボク（2.5Y2/1, 現地表下20～34cm） 3層 暗オリーブ褐色シルト質土 地山ブロック混（2.5Y3/3, 現地表下34～50cm） 4層 黑褐色シルト質土 しまり強 地山ブロック混（2.5Y3/2, 現地表下50～60cm） 5層 明黄褐色シルト質土 細砂混 地山（10YR6/6, 現地表下60～90cmまで確認）
T 6	5.0×1×1.0	〈遺構・遺物なし〉 1層 表土（現地表面～現地表下20cm） 2層 黒色シルト質土 黒ボク（2.5Y2/1, 現地表下20～40cm） 3層 黑褐色シルト質土 しまり強 地山ブロック混（2.5Y3/2, 現地表下40～80cm） 4層 明黄褐色シルト質土 地山（10YR6/6, 現地表下80～100cmまで確認）
T 7	8.0×1×0.6	〈遺構・遺物なし〉 1層 表土（現地表面～現地表下10cm） 2層 黒色シルト質土 黒ボク（2.5Y2/1, 現地表下10～30cm） 3層 黑褐色シルト質土 しまり強 地山ブロック混（2.5Y3/1, 現地表下30～50cm） 4層 明黄褐色シルト質土 風化花崗岩盤 地山（10YR6/6, 現地表下50～60cmまで確認）
T 8	10.0×1×0.7	〈遺構・遺物なし〉 1層 表土（現地表面～現地表下16cm） 2層 黒色シルト質土 黒ボク（2.5Y2/1, 現地表下16～34cm） 3層 黑褐色シルト質土 地山ブロック混（2.5Y3/1, 現地表下34～56cm） 4層 黄褐色シルト質土 風化花崗岩盤 地山（10YR5/6, 現地表下56～70cmまで確認）
T 9	7.0×1×1.0	〈遺構・遺物なし〉 1層 表土（現地表面～現地表下28cm） 2層 黒色シルト質土 黒ボク（2.5Y2/1, 現地表下28～50cm） 3層 にぶい黄褐色砂質土 しまり強 地山ブロック混（10YR4/3, 現地表下50～56cm） 4層 黑褐色シルト質土 しまり強（7.5YR2/1, 現地表下56～66cm） 5層 黑褐色シルト質土 細砂・地山ブロック混（7.5YR2/2, 現地表下66～86cm） 6層 暗褐色シルト質土 細砂・地山ブロック混（7.5YR3/4, 現地表下86～92cm） 7層 褐色シルト質土 風化花崗岩盤 地山（7.5YR4/4, 現地表下92～100cmまで確認）

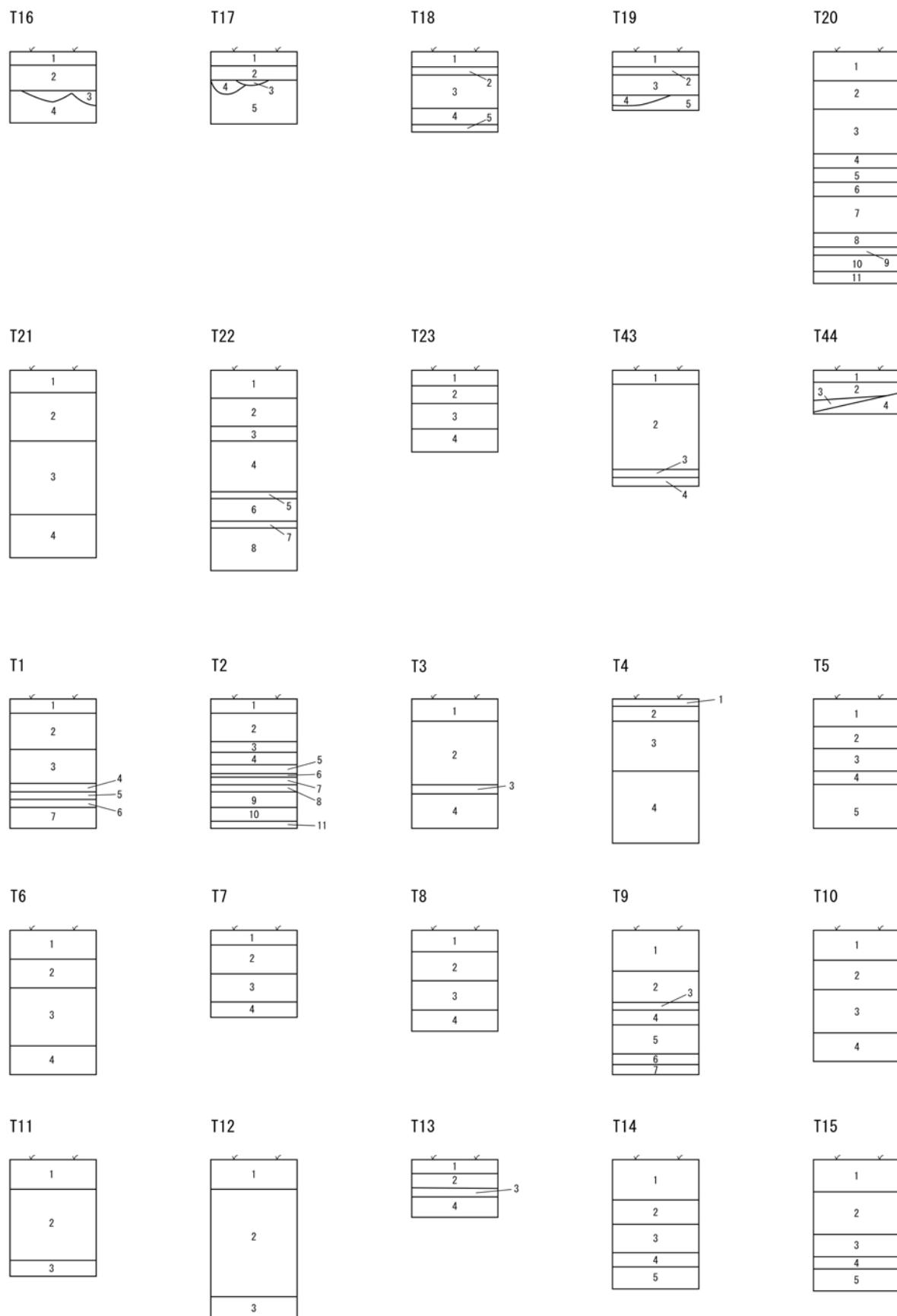
トレンチ No.	規模（長さ×幅 ×最大深さ、単 位m）	調査所見
T10	7.0×1×0.9	〈遺構・遺物なし〉 1層 表土（現地表面～現地表下20cm） 2層 黒色シルト質土 黒ボク（2.5Y2/1, 現地表下20～40cm） 3層 黒色シルト質土 地山ブロック混（2.5Y2/1, 現地表下40～70cm） 4層 明黄褐色粘質土 花崗岩盤 地山 湧水（10YR6/6, 現地表下70～90cmまで確認）
T11	4.0×1×0.8	〈遺構・遺物なし〉 1層 表土（現地表面～現地表下20cm） 2層 黒色シルト質土 細砂混（2.5Y2/1, 現地表下20～70cm） 3層 オリーブ褐色砂質土 地山（2.5Y4/3, 現地表下70～80cmまで確認）
T12	7.0×1×1.1	〈遺構・遺物なし〉 1層 表土（現地表面～現地表下20cm） 2層 黒色シルト質土 細砂混（2.5Y2/1, 現地表下20～94cm） 3層 オリーブ褐色砂質土 地山（2.5Y4/3, 現地表下94～110cmまで確認）
T13	7.0×1×0.4	〈遺構・遺物なし〉 1層 表土（現地表面～現地表下10cm） 2層 黑褐色シルト質土（2.5Y3/1, 現地表下10～20cm） 3層 暗褐色シルト質土 細砂混（10YR3/4, 現地表下20～26cm） 4層 黄褐色砂質土 地山（10YR5/6, 現地表下26～40cmまで確認）
T14	8.0×1×0.9	〈遺構・遺物なし〉 1層 表土（現地表面～現地表下28cm） 2層 黒色シルト質土（2.5Y2/1, 現地表下28～44cm） 3層 黑褐色シルト質土（2.5Y3/1, 現地表下44～66cm） 4層 暗褐色シルト質土 細砂混（10YR3/4, 現地表下66～74cm） 5層 黄褐色砂質土 地山（10YR5/6, 現地表下74～90cmまで確認）
T15	8.0×1×0.9	〈遺構・遺物なし〉 1層 表土（現地表面～現地表下20cm） 2層 黒色シルト質土（2.5Y2/1, 現地表下20～50cm） 3層 黑褐色シルト質土（2.5Y3/1, 現地表下50～66cm） 4層 暗褐色シルト質土 細砂混（10YR3/4, 現地表下66～76cm） 5層 黄褐色砂質土 地山（10YR5/6, 現地表下76～90cmまで確認）
残土処分場D箇所（T24～T42）		
T24	2.0×1×1.0	〈遺構・遺物なし〉 1層 表土（現地表面～現地表下10cm） 2層 黑褐色シルト質土 地山ブロック混（10YR2/2, 現地表下10～30cm） 3層 黄褐色砂質土（10YR6/8, 現地表下30～40cm） 4層 黑褐色シルト質土 細砂混（10YR2/2, 現地表下40～60cm） 5層 暗褐色砂（10YR3/3, 現地表下60～80cm） 6層 黑褐色シルト質土（10YR2/2, 現地表下80～100cmまで確認。以下湧水）

トレンチ No.	規模（長さ×幅 ×最大深さ、単 位m）	調査所見
T25	3.0×1×1.0	〈遺構・遺物なし〉 1層 表土（現地表面～現地表下10cm） 2層 黒色シルト質土 細砂混（10YR2/1, 現地表下10～20cm） 3層 黑褐色砂質土 地山ブロック混（10YR2/2, 現地表下20～40cm） 4層 黒色シルト質土（10YR2/1, 現地表下40～90cm） 5層 浅黄橙色シルト質土 しまり強（10YR8/3, 現地表下90～100cmまで確認。以 下湧水）
T26	2.0×1×0.8	〈遺構・遺物なし〉 1層 表土（現地表面～現地表下10cm） 2層 黑褐色シルト質土 地山ブロック混（10YR2/2, 現地表下10～20cm） 3層 黒色シルト質土（10YR2/1, 現地表下20～60cm） 4層 黑褐色砂質土 地山ブロック混（10YR2/2, 現地表下60～80cmまで確認。以下湧水）
T27	4.0×1×0.6	〈遺構なし〉 1層 表土 鉄滓含む（現地表面～現地表下20cm） 2層 黒色シルト質土 地山ブロック混（10YR2/1, 現地表下20～30cm） 3層 黑褐色シルト質土 地山ブロック混（10YR2/2, 現地表下30～34cm） 4層 黒色シルト質土 黒ボク（10YR1.7/1, 現地表下34～50cm） 5層 にぶい黄橙色シルト質土 しまり強（10YR6/4, 現地表下50～60cmまで確認。 以下湧水）
T28	5.0×1×0.7	〈遺構・遺物なし〉 1層 表土（現地表面～現地表下20cm） 2層 黒色シルト質土 地山ブロック混（10YR2/1, 現地表下20～40cm） 3層 黑褐色シルト質土 しまり弱 地山ブロック混（10YR3/2, 現地表下40～50cm） 4層 黒色シルト質土 黒ボク由来（10YR2/1, 現地表下50～60cm） 5層 黑色シルト質土 黑ボク由来（10YR1.7/1, 現地表下60～70cmまで確認。以下湧水）
T29	2.0×1×1.1	〈遺構・遺物なし〉 1層 表土（現地表面～現地表下20cm） 2層 黑色シルト質土 黑ボク（10YR2/1, 現地表下20～46cm） 3層 黑色シルト質土 細砂・地山ブロック混（10YR1.7/1, 現地表下46～70cm） 4層 黑褐色シルト質土 地山ブロック混（10YR2/2, 現地表下70～86cm） 5層 暗褐色砂質土 地山ブロック混（10YR3/3, 現地表下86～110cmまで確認。以 下湧水）
T30	3.0×1×0.8	〈遺構・遺物なし〉 1層 表土（現地表面～現地表下10cm） 2層 黑色シルト質土 黑ボク（10YR2/1, 現地表下10～44cm） 3層 黑褐色シルト質土 細砂・地山ブロック混（10YR3/1, 現地表下44～70cm） 4層 黑褐色砂質土 地山ブロック混（10YR2/3, 現地表下70～80cmまで確認。以下 湧水）

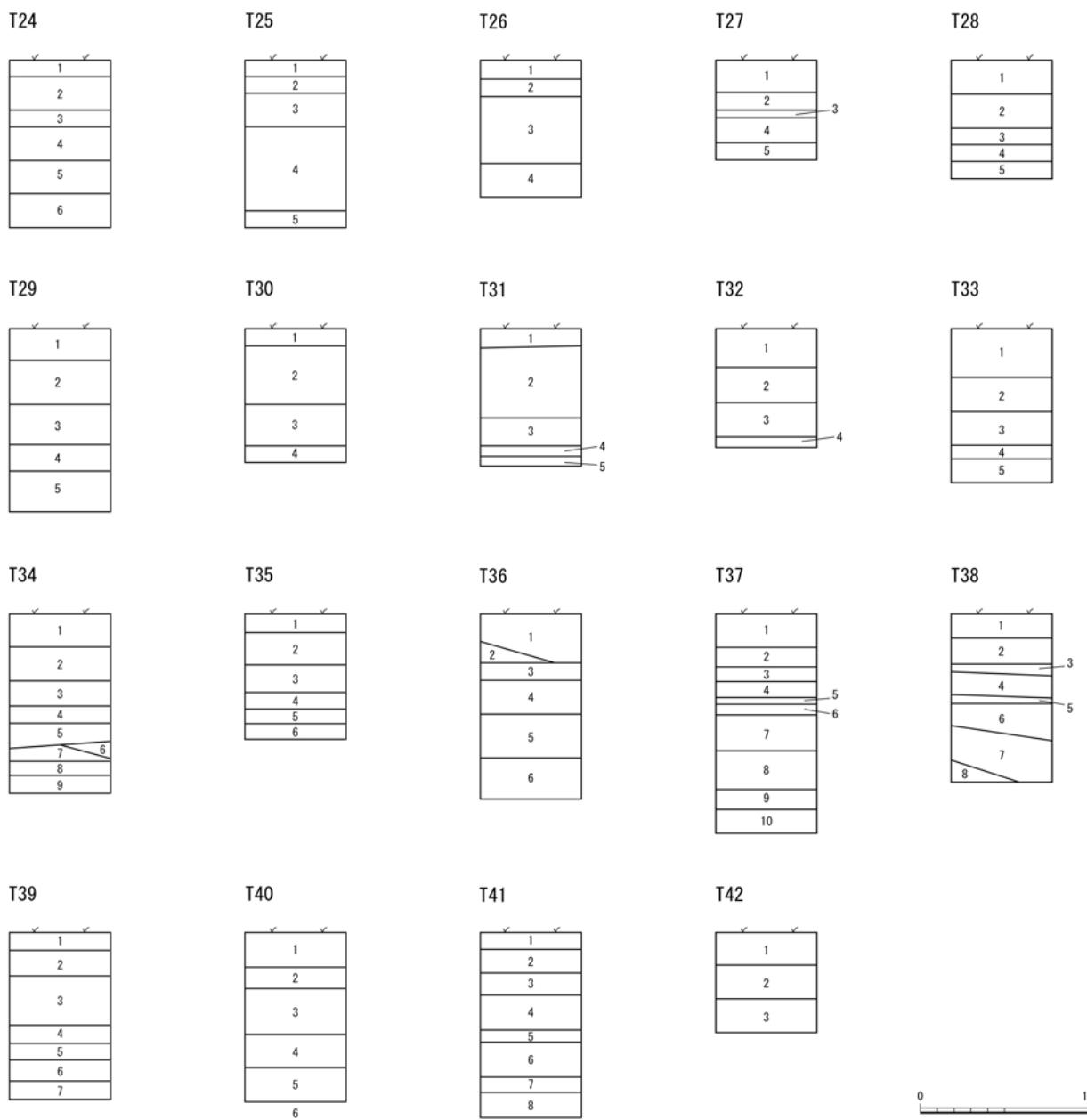
トレンチ No.	規模（長さ×幅 ×最大深さ、単 位m）	調査所見
T31	3.0×1×0.8	<p>〈遺構・遺物なし〉</p> <p>1層 表土（現地表面～現地表下10cm）</p> <p>2層 現代客土（現地表下10～52cm）</p> <p>3層 黒色シルト質土 黒ボク（10YR2/1, 現地表下52～68cm）</p> <p>4層 灰黄褐色シルト質土 しまり強 細砂混（10YR4/2, 現地表下68～74cm）</p> <p>5層 黒色シルト質土（10YR2/1, 現地表下74～80cmまで確認。以下湧水）</p>
T32	3.0×1×0.7	<p>〈遺構・遺物なし〉</p> <p>1層 表土（現地表面～現地表下22cm）</p> <p>2層 黒褐色シルト質土（10YR3/1, 現地表下22～44cm）</p> <p>3層 黒色シルト質土 細砂・地山ブロック混（10YR2/1, 現地表下44～64cm）</p> <p>4層 黒褐色シルト質土 細砂・地山ブロック混（10YR2/2, 現地表下64～70cmまで確認。以下湧水）</p>
T33	6.0×1×0.92	<p>〈遺構・遺物なし〉</p> <p>1層 表土（現地表面～現地表下30cm）</p> <p>2層 黒褐色シルト質土 細砂・地山ブロック混（10YR3/1, 現地表下30～50cm）</p> <p>3層 黒色シルト質土（10YR2/1, 現地表下50～70cm）</p> <p>4層 にぶい黄橙色砂質土（10YR6/4, 現地表下70～78cm）</p> <p>5層 黒色シルト質土（10YR2/1, 現地表下78～92cmまで確認。以下湧水）</p>
T34	4.0×1×1.08	<p>〈遺構・遺物なし〉</p> <p>1層 表土（現地表面～現地表下20cm）</p> <p>2層 黒褐色シルト質土 細砂・地山ブロック混（10YR2/2, 現地表下20～40cm）</p> <p>3層 黒色シルト質土 地山ブロック混（10YR2/1, 現地表下40～56cm）</p> <p>4層 黑褐色シルト質土 細砂・地山ブロック混（10YR2/2, 現地表下56～64cm）</p> <p>5層 黒色シルト質土 地山ブロック混（10YR2/1, 現地表下64～78cm）</p> <p>6層 黑褐色砂質土 地山ブロック混（10YR3/1, 現地表下78～84cm）</p> <p>7層 黒色シルト質土 細砂混（10YR2/1, 現地表下84～88cm）</p> <p>8層 黑褐色砂質土 地山ブロック混（10YR3/2, 現地表下88～96cm）</p> <p>9層 黒色粘質土 グライ化し, 青味がかる（5Y2/1, 現地表下96～108cmまで確認。以下湧水）</p>
T35	3.0×1×0.74	<p>〈遺構・遺物なし〉</p> <p>1層 表土（現地表面～現地表下10cm）</p> <p>2層 黑褐色シルト質土（10YR3/1, 現地表下10～30cm）</p> <p>3層 黑色シルト質土 細砂混（10YR2/1, 現地表下30～44cm）</p> <p>4層 灰黄褐色砂質土（10YR4/2, 現地表下44～54cm）</p> <p>5層 黑色シルト質土 紆砂・地山ブロック混（10YR2/1, 現地表下54～64cm）</p> <p>6層 黑褐色砂質土 地山ブロック混（10YR2/2, 現地表下64～74cmまで確認。以下湧水）</p>

トレンチ No.	規模（長さ×幅 ×最大深さ、単 位m）	調査所見
T36	3.0×1×1.1	<p>〈遺構・遺物なし〉</p> <p>1層 表土（現地表面～現地表下28cm）</p> <p>2層 黒褐色シルト質土 細砂・地山ブロック混（10YR3/2, 現地表下28～30cm）</p> <p>3層 にぶい黄褐色砂質土 地山ブロック混（10YR5/4, 現地表下30～40cm）</p> <p>4層 黒褐色シルト質土 細砂混（10YR3/1, 現地表下40～60cm）</p> <p>5層 にぶい黄褐色砂質土（10YR5/4, 現地表下60～86cm）</p> <p>6層 黒褐色粘質土（10YR2/1, 現地表下86～110cmまで確認。以下湧水）</p>
T37	3.0×1×1.3	<p>〈遺構・遺物なし〉</p> <p>1層 表土（現地表面～現地表下20cm）</p> <p>2層 黒褐色シルト質土 地山ブロック混（10YR2/2, 現地表下20～32cm）</p> <p>3層 黒色シルト質土（10YR2/1, 現地表下32～40cm）</p> <p>4層 黒褐色シルト質土 地山ブロック混（10YR2/2, 現地表下40～50cm）</p> <p>5層 黒色シルト質土 細砂混（10YR2/1, 現地表下50～54cm）</p> <p>6層 黑褐色シルト質土 細砂・地山ブロック混（10YR3/2, 現地表下54～60cm）</p> <p>7層 黑色シルト質土 細砂混（10YR1.7/1, 現地表下60～82cm）</p> <p>8層 黑色シルト質土 細砂混（10YR2/1, 現地表下82～104cm）</p> <p>9層 黑褐色粘質土 地山ブロック混（10YR3/1, 現地表下104～116cm）</p> <p>10層 にぶい黄褐色粘質土 風化花崗岩 地山（10YR5/3, 現地表下116～130cmまで確認）</p>
T38	3.0×1×1.0	<p>〈遺構・遺物なし〉</p> <p>1層 表土（現地表面～現地表下14cm）</p> <p>2層 黑褐色シルト質土 細砂・地山ブロック混（10YR3/1, 現地表下14～30cm）</p> <p>3層 黑色シルト質土（10YR2/1, 現地表下30～36cm）</p> <p>4層 黑色シルト質土 細砂混（10YR2/1, 現地表下36～50cm）</p> <p>5層 黑褐色シルト質土 細砂混（10YR3/2, 現地表下50～54cm）</p> <p>6層 にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3, 現地表下54～72cm）</p> <p>7層 黑色シルト質土 細砂混（10YR2/1, 現地表下72～98cm）</p> <p>8層 黑色砂質土（10YR2/1, 現地表下98～100cmまで確認。以下湧水）</p>
T39	3.0×1×0.98	<p>〈遺構・遺物なし〉</p> <p>1層 表土（現地表面～現地表下10cm）</p> <p>2層 黑色シルト質土 細砂混（10YR1.7/1, 現地表下10～24cm）</p> <p>3層 にぶい黄橙色砂質土 しまり強（10YR6/3, 現地表下24～54cm）</p> <p>4層 黑色シルト質土 細砂混（10YR2/1, 現地表下54～66cm）</p> <p>5層 にぶい黄橙色砂質土（10YR6/3, 現地表下66～76cm）</p> <p>6層 黑褐色シルト質土 細砂混（10YR3/1, 現地表下76～88cm）</p> <p>7層 黑褐色粘質土（10YR3/2, 現地表下88～98cmまで確認。以下湧水）</p>

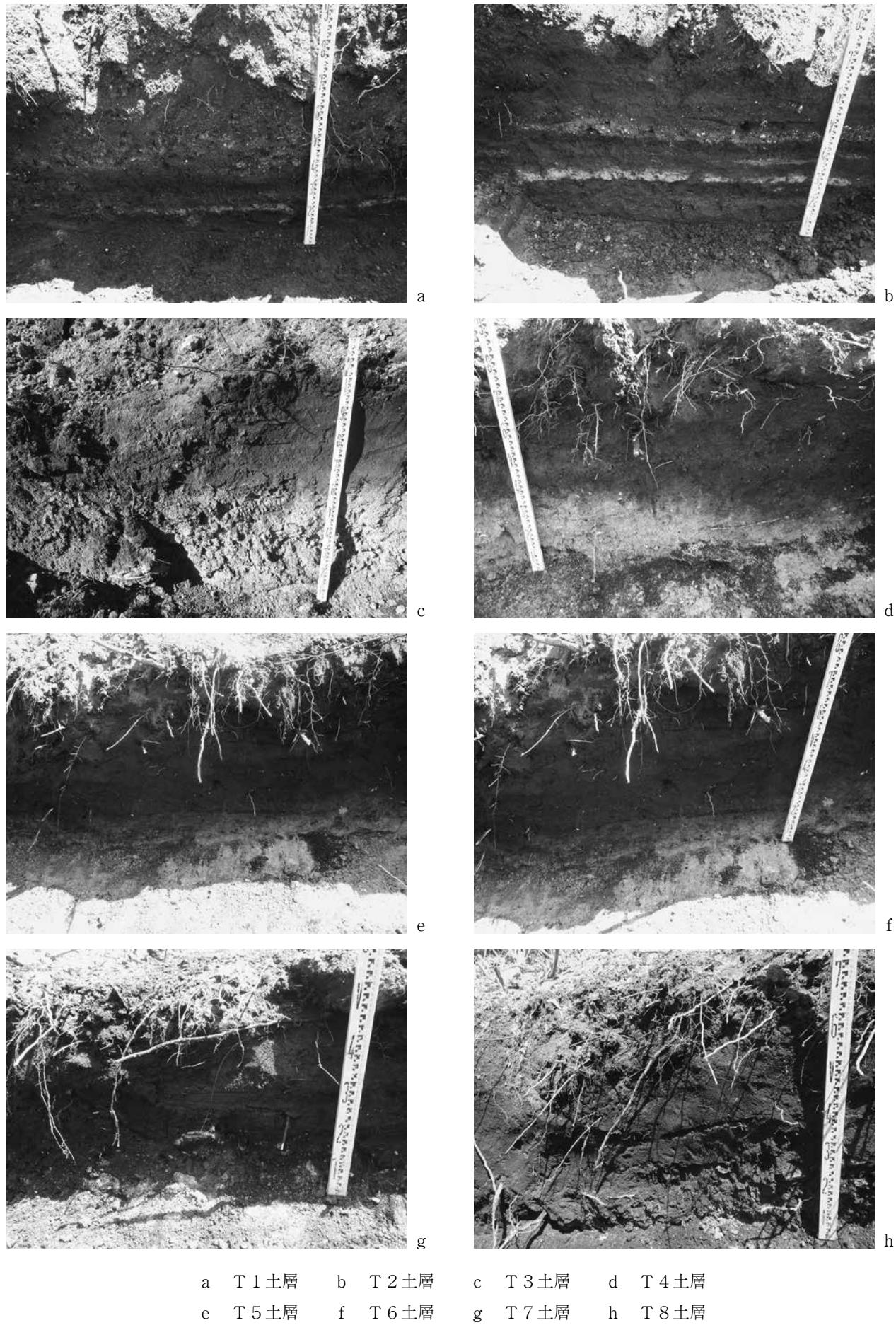
トレンチ No.	規模（長さ×幅 ×最大深さ、単 位m）	調査所見
T40	3.0×1×1.0	<p>〈遺構・遺物なし〉</p> <p>1層 表土（現地表面～現地表下20cm）</p> <p>2層 黒色シルト質土（10YR2/1, 現地表下20～32cm）</p> <p>3層 黒色シルト質土 細砂混（10YR1.7/1, 現地表下32～60cm）</p> <p>4層 黒色シルト質土 地山ブロック混（10YR2/1, 現地表下60～80cm）</p> <p>5層 黒色シルト質土 細砂・地山ブロック混（10YR2/1, 現地表下80～100cm）</p> <p>6層 にぶい黄褐色砂質土（10YR5/3, 現地表下100cm以深で確認。以下湧水）</p>
T41	3.0×1×1.1	<p>〈遺構・遺物なし〉</p> <p>1層 表土（現地表面～現地表下10cm）</p> <p>2層 黒色シルト質土 細砂混（10YR2/1, 現地表下10～24cm）</p> <p>3層 にぶい黄橙色砂質土（10YR6/3, 現地表下24～38cm）</p> <p>4層 黒褐色シルト質土（10YR3/1, 現地表下38～58cm）</p> <p>5層 灰黄褐色砂質土 地山ブロック混（10YR4/2, 現地表下58～64cm）</p> <p>6層 黒色粘質土（10YR2/1, 現地表下64～86cm）</p> <p>7層 黑褐色砂質土 地山ブロック混（10YR3/2, 現地表下86～94cm）</p> <p>8層 黑褐色粘質土（10YR2/2, 現地表下94～110cmまで確認。以下湧水）</p>
T42	3.0×1×0.6	<p>〈遺構・遺物なし〉</p> <p>1層 表土（現地表面～現地表下20cm）</p> <p>2層 黑褐色シルト質土 地山ブロック混（10YR3/2, 現地表下20～40cm）</p> <p>3層 黑褐色シルト質土（10YR3/2, 現地表下40～60cmまで確認。以下湧水）</p>

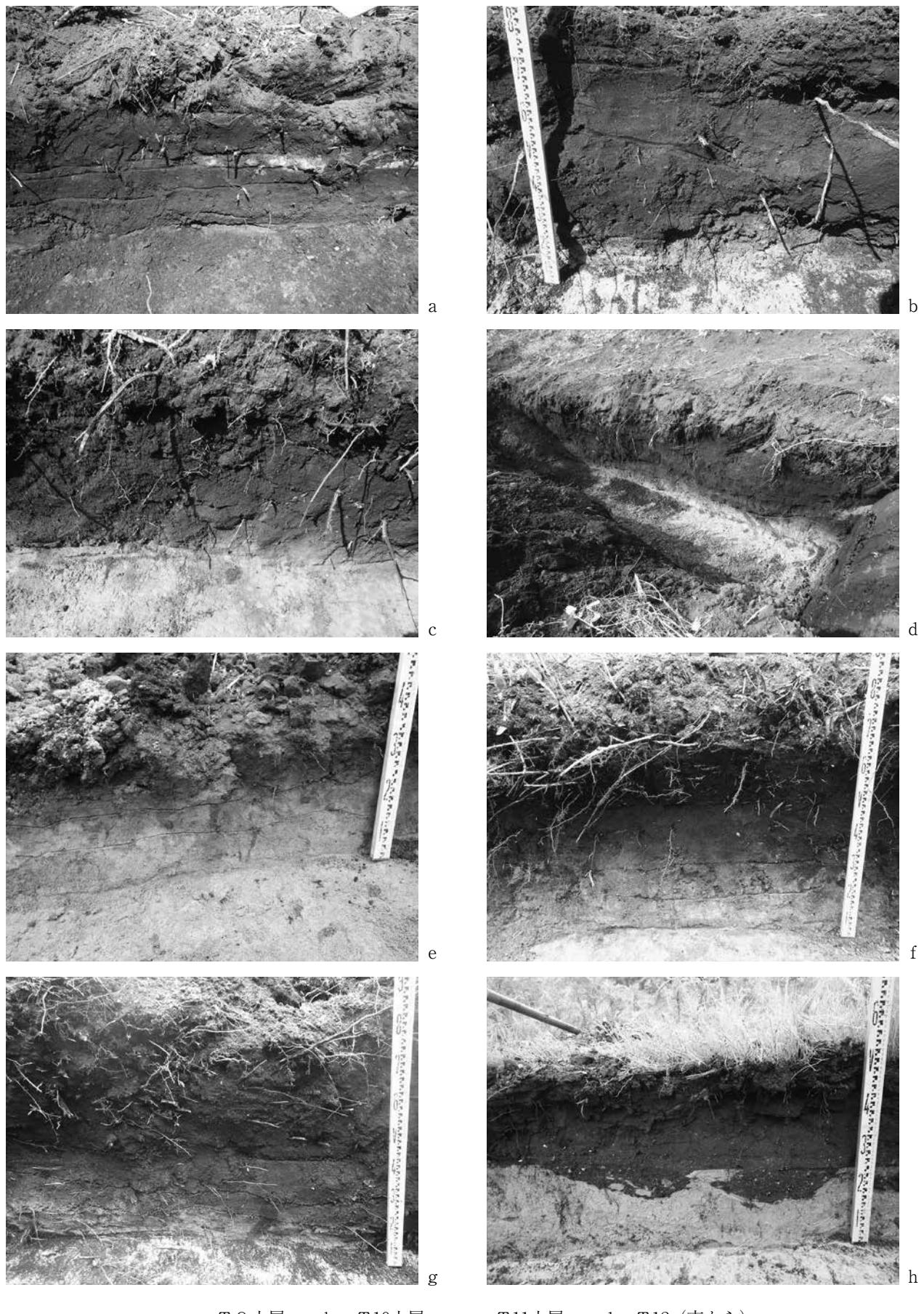


第5図 一般国道183号鍵掛峠道路改良事業計画地（要試掘地点No.8, 残土処分場E箇所）土層断面図（1：40）



第6図 一般国道183号鍵掛峠道路改良事業計画地（残土処分場D箇所）土層断面図（1：40）





a T9 土層 b T10 土層 c T11 土層 d T12 (南から)
e T13 土層 f T14 土層 g T15 土層 h T16 土層



a



b



c



d



e



f



g



h

a T17土層

b T18土層

c T19土層

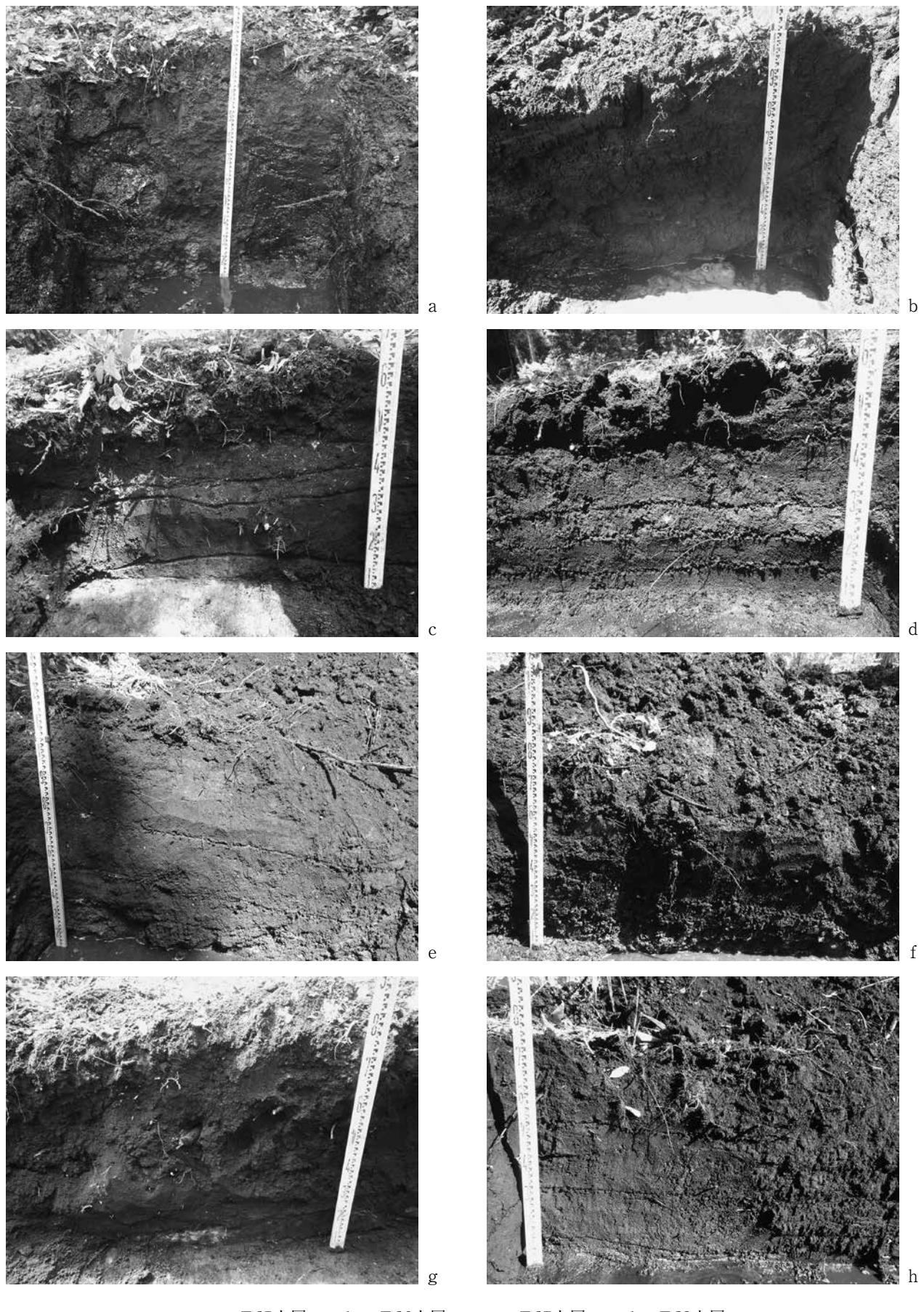
d T20土層

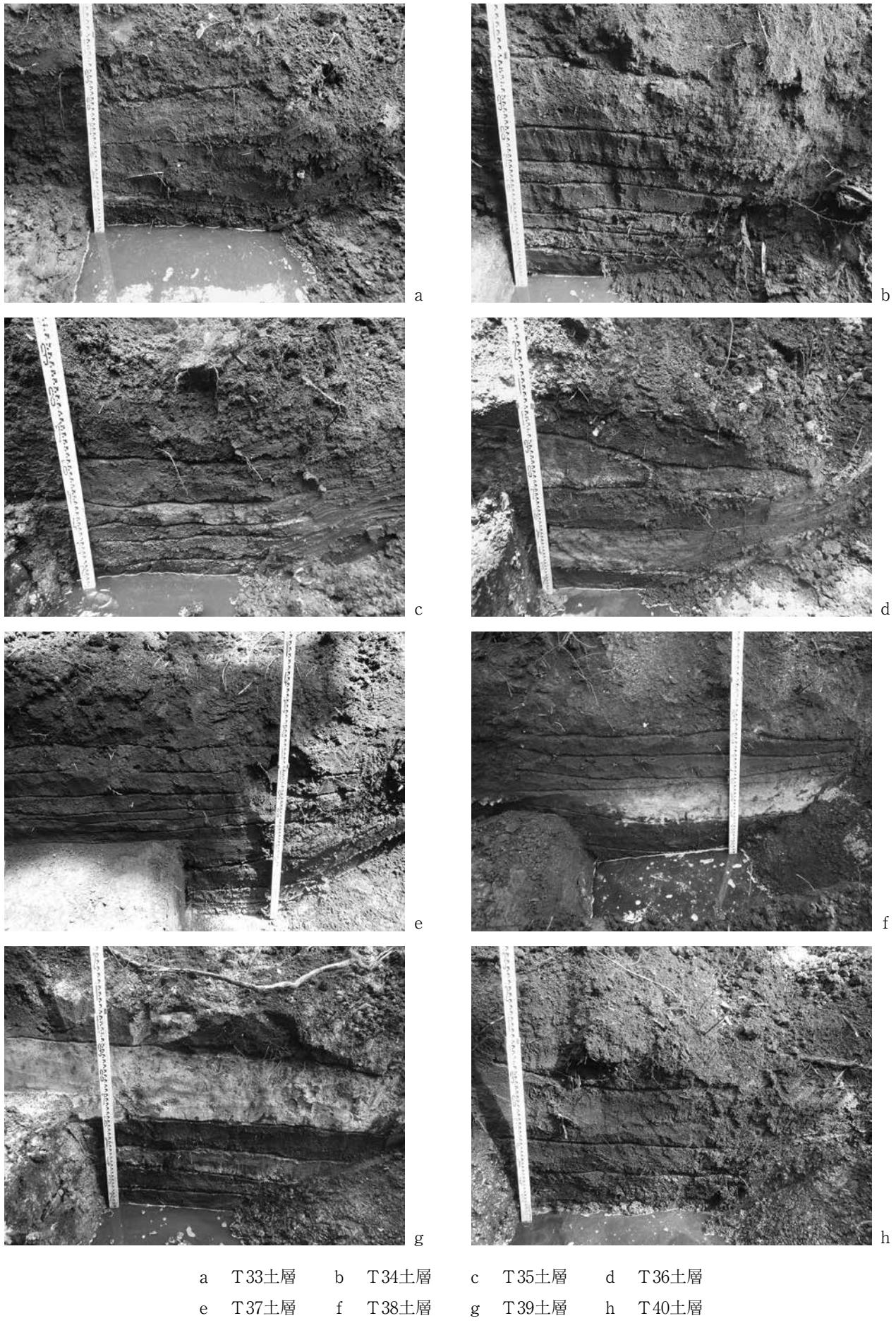
e T21土層

f T22土層

g T23土層

h T24土層







a



b



c



d

a T41土層

b T42土層

c T43 (北西から)

d T44土層

2 広島市東部地区連続立体交差事業に係る試掘調査

所 在 地：安芸郡海田町上市

調 査 目 的：広島市東部地区連続立体交差事業に係る埋蔵文化財の有無及び範囲確認

開 発 事 業 者：広島県西部建設事務所

調 査 年 月 日：令和 2 年 11 月 25 日～27 日， 30 日～12 月 1 日

調 査 対 象 面 積：3,532.6m²

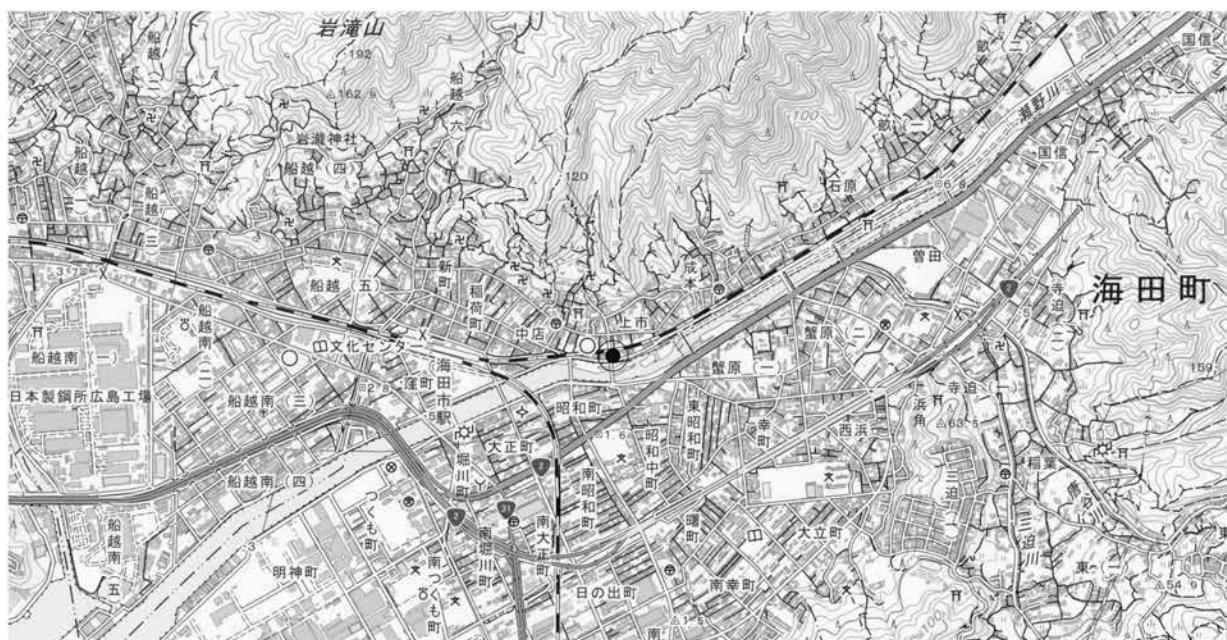
調 査 結 果：海田市町屋跡（近世， 集落跡， 面積3,722m²）を確認。

調 査 概 要：

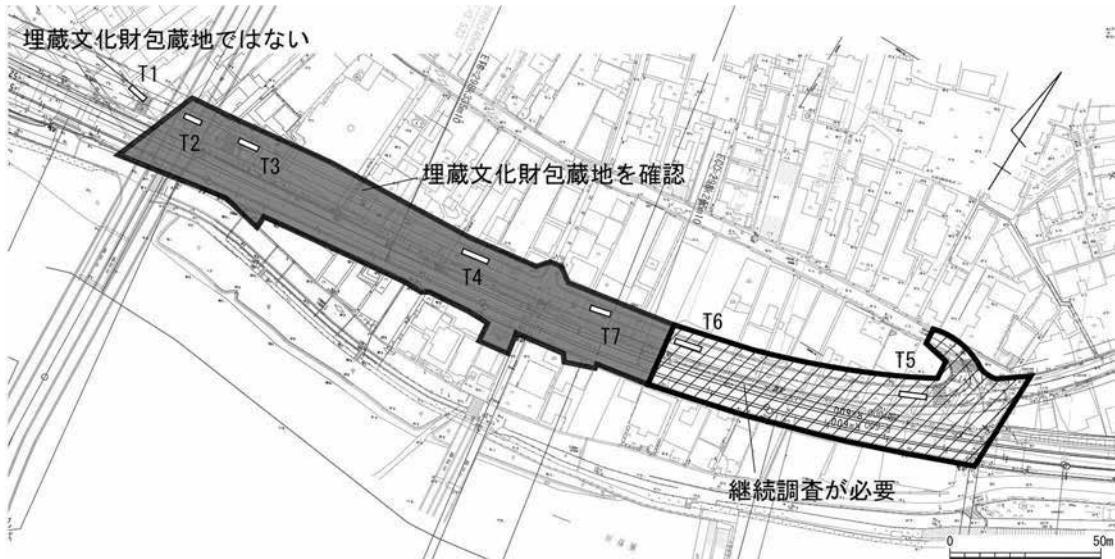
事業計画地北側を近世西国街道が東西に走っており，町屋関連遺構が存在する可能性が想定されたため，試掘調査を実施した。

試掘調査では，事業計画地内の計 7 か所（T 1～7）を重機により掘削し，遺構の有無を精査した。

T 3 では，地下約0.3m以下に便所遺構が想定できる石組・木製容器・陶器からなる構造物（6～11層）とその基盤層（16層）を，地下約1.8m以下に木炭・竹炭層（17層），貝層（19層）を検出した。寛永14（1638）年頃，T 3 北側には「太郎兵衛」の屋敷が建っていたとされ⁽¹⁾，T 3 はその裏手にあたる地点と推定される。今回検出した遺構や人為層は，西国街道沿いに存在した近世町屋に関連するものである可能性が高い。関連して，T 2 では明確な遺構は検出できなかったが，地下約1.2m以下に，T 3 で遺構の基盤となっていた16層と連続すると考えられる層（8層）が検出されており，T 2周辺まで遺構が広がっている可能性がある。また，T 2 では川又は海に由来すると考えられる，貝殻の細片を含む砂が厚く堆積していた。T 2周辺は近世初頭まで旧汀線に近く，また近世の一時は改修された瀬野川の川岸に近かったとされているが⁽¹⁾，T 2 で確認した土層堆積状況はこの歴史を裏



第7図 広島市東部地区連続立体交差事業に係る試掘調査地点位置図（1：25,000）
(国土地理院1：25,000地形図「海田市」図幅を使用)



第8図 広島市東部地区連続立体交差事業計画地 試掘坑位置図 (1 : 2,500)

付けるものである可能性がある。

T 4では、地下約0.4m以下で時代不明の石組を上面に据えた層（4層）を、地下約0.8m以下に土中で腐朽した壁土等を想定できる砂入り白土と褐色土の2層からなる人工物、陶磁器片及び炭化物を廃棄した層（7層）を、地下約2.3m以下に大量の海産貝・炭化物・土器片を含む層（13層）を検出した。

T 7では、整地・埋立による攪乱がみられたが、地下約1.0m以下に時代不明の石組とそれに伴う置土を、地下約2.1m以下に堅く叩きしめた土間等を想定できる水平な硬化層（19・20層）を検出した。また、それ以下の層（21層）にも土器・炭化物が含まれていた。

このほか、T 5・6では、地下約1.8m以下に炭化物を含む層（T 5：4層、T 6：6層）がみられた。攪乱等により試掘坑の範囲内では明確な遺構が確認できなかったが、西国街道に近接する位置にあることから周辺に遺構が存在する可能性は否定できない。

T 1では地下約1.4m以下に陶器片を含む層（6層）がみられたが、明確な遺構は確認できなかった。

以上、T 2～4・7では遺構及び遺構に準ずる人為層・土層堆積状況（以下、遺構等）が確認された。遺構等の所属時期は近世以降と推定され、位置や文献によれば、西国街道沿いに存在した近世町屋関連のものである可能性が高い。海田町の形成を知る上で重要であり、地域において必要なものと判断できることから、これら遺構等を埋蔵文化財として取扱い、T 2～4・7周辺を埋蔵文化財包蔵地として周知することが適当と考えられる⁽²⁾。

また、T 5・6では、試掘坑の範囲内では明確な遺構が確認できなかったが、西国街道に近接する位置にあることから、周辺に遺構が存在する可能性を現時点では否定できない。T 5・6周辺における埋蔵文化財の有無については、今後の調査状況等をみながら引き続き検討する必要がある。

註

(1)『海田町史』通史編、広島県安芸郡海田町、1986年。

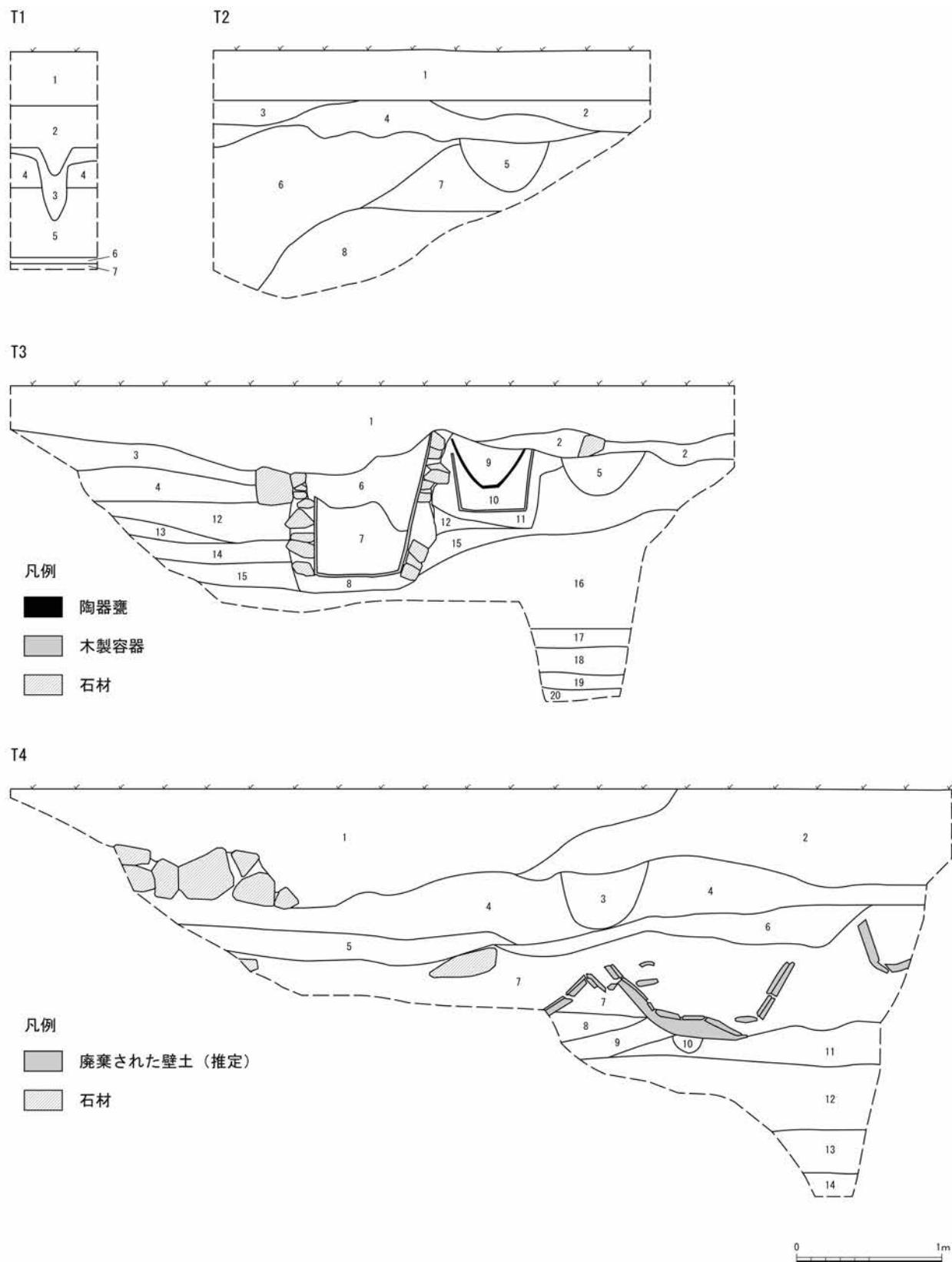
(2)「開発事業に伴う埋蔵文化財の取扱いに係る判断基準」中国四国ブロック文化行政主管課長会議、平成12年3月29日。

表5 広島市東部地区連続立体交差事業計画地試掘坑所見

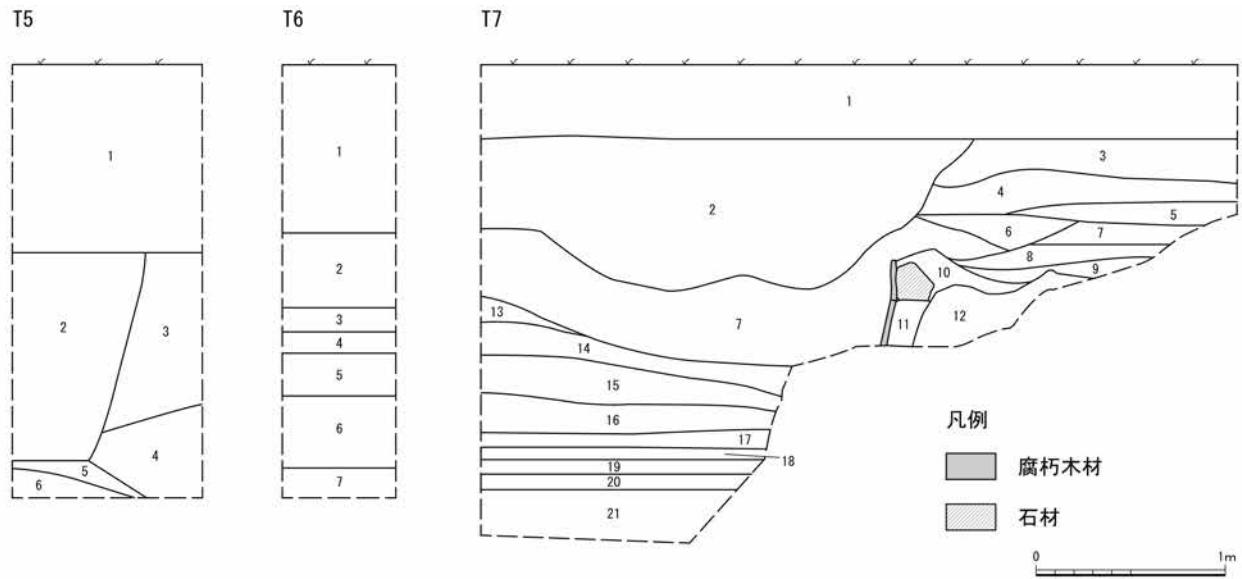
トレンチ No.	規模（長さ×幅 ×最大深さ、単 位m）	調査所見
T 1	4.0×1×1.5	<p>『南壁』</p> <p>1層 整地土</p> <p>2層 浅黄橙色（10YR8/4）砂</p> <p>3層 黒褐色（10YR2/2）シルト質土</p> <p>4層 灰黄褐色（10YR4/2）シルト質土</p> <p>5層 浅黄橙色（10YR8/4）砂</p> <p>6層 灰黄褐色（10YR4/2）砂</p> <p>7層 浅黄橙色（10YR8/4）砂</p>
T 2	5.0×1×1.7	<p>『北壁』</p> <p>1層～4層 整地・埋立土</p> <p>5層 明黄褐色（10YR7/6）砂質土とにぶい黄褐色（10YR5/4）砂質土が斜交状堆積 炭化物含む 時代不明落ち込み埋土</p> <p>6層 明黄褐色（10YR7/6）砂 海又は川に由来か</p> <p>7層 明黄褐色（10YR7/6）砂とにぶい黄褐色（10YR4/3）シルト質土が互層状・斜 行状堆積 東側からの流土</p> <p>8層 にぶい黄褐色（10YR4/3）シルト質土 粗い砂粒・海産貝含む</p>
T 3	5.0×1×2.18	<p>『北壁』</p> <p>1層～4層 整地・埋立土</p> <p>5層 褐色（10YR4/4）砂 石含む</p> <p>6層 褐色（7.5YR4/6）シルト質土 砂粒含む 木製容器（木枠か）上層埋土</p> <p>7層 黒褐色（10YR3/1）砂質土 炭化物・木片含む 木製容器（木枠か）下層埋土</p> <p>8層 褐色（10YR4/6）砂質土 上面に石組 遺構掘形埋土</p> <p>9層 明褐色（7.5YR5/6）シルト質土 陶器甕埋土 外側が白色化 小便槽か</p> <p>10層 にぶい黄褐色（10YR5/3）砂質土 石含む 木製容器（木枠か）埋土</p> <p>11層 にぶい黄褐色（10YR4/3）砂 遺構掘形埋土</p> <p>12層 にぶい黄褐色（10YR5/3）シルト質土 下位にマンガン沈殿 磁器片含む</p> <p>13層 褐色（10YR4/4）砂</p> <p>14層 浅黄橙色（10YR8/4）砂</p> <p>15層 にぶい黄橙色（10YR7/4）砂とにぶい黄褐色（10YR5/4）砂の互層・斜行状堆積 東側からの流土</p> <p>16層 灰黄褐色（10YR4/2）シルト質土 炭化物含む</p> <p>17層 木炭・竹炭層</p> <p>18層 灰黄褐色（10YR4/2）砂質土</p>

トレンチ No	規模（長さ×幅 ×最大深さ、単 位m）	調査所見
T 3	5.0×1×2.18	19層 海産貝層 20層 にぶい黄褐色（10YR5/4）砂質土
T 4	7.0×1×2.8	《北壁》 1層～2層 整地・埋立土 3層 灰黄褐色（10YR4/2）シルト質土 炭化物含む 時代不明落ち込み埋土 4層 にぶい黄褐色（10YR4/3）砂質土 炭化物含む 上面に石組 5層 浅黄橙色（10YR8/4）砂 6層 褐色（10YR4/4）砂質土 炭化物・陶器片・瓦片含む 7層 暗褐色（10YR3/3）砂質土 炭化物・陶磁器片・推定壁土含む 8層 にぶい黄橙色（10YR6/4）砂 9層 黒褐色（10YR3/2）砂質土 炭化物含む 10層 黑褐色（10YR3/2）砂質土 時代不明落ち込み埋土 11層 にぶい黄褐色（10YR5/3）砂 陶磁器片含む 12層 灰黄褐色（10YR4/2）砂質土 炭化物含む 13層 暗褐色（10YR3/4）シルト質土 炭化物・多量の海産貝・土器片含む 14層 にぶい黄橙色（10YR6/4）砂 多量の海産貝含む
T 5	6.0×1×2.3	《北壁》 1層～2層 整地・埋立土 3層 にぶい黄褐色（10YR5/4）砂 4層 灰黄褐色（10YR4/2）砂質土 炭化物含む 5層 にぶい黄橙色（10YR6/4）砂 6層 にぶい黄褐色（10YR5/4）砂質土
T 6	8.5×1×2.3	《北壁》 1層 整地・埋立土 2層 にぶい黄褐色（10YR4/3）砂質土 炭化物含む 3層 にぶい黄褐色（10YR4/3）砂質土 明黄褐色（10YR6/6）砂質土ブロック含む 4層 にぶい黄褐色（10YR5/4）砂質土 明黄褐色（10YR6/6）砂質土ブロック含む 5層 灰黄褐色（10YR4/2）砂質土 にぶい黄橙色（10YR6/4）砂ブロック含む 6層 灰黄褐色（10YR4/2）砂質土 炭化物含む 7層 にぶい黄橙色（10YR6/4）砂

トレンチ No	規模（長さ×幅 ×最大深さ、単 位m）	調査所見
T 7	7.25 × 1 × 2.5	<p>『南壁』</p> <p>1層～7層 整地・埋立土</p> <p>8層 黒褐色（10YR3/2）砂質土</p> <p>9層 にぶい黄橙色（10YR5/3）砂</p> <p>10層 灰黄褐色（10YR4/2）砂質土</p> <p>11層 橙色（7.5YR6/6）砂質土 石材置き土か</p> <p>12層 明黄褐色（10YR6/6）砂 上面が黒色化・硬質化</p> <p>13層 にぶい黄褐色（10YR4/3）砂質土</p> <p>14層 灰黄褐色（10YR4/2）砂質土</p> <p>15層 灰黄褐色（10YR4/2）砂質土 黒褐色（10YR3/2）砂質土ブロック・炭化物含む</p> <p>16層 黒褐色（10YR3/2）砂質土 炭化物・焼土塊含む</p> <p>17層 褐色（10YR4/4）シルト質土 雲母・鉄分含む</p> <p>18層 にぶい黄色（2.5Y6/4）砂質土</p> <p>19層 灰黄褐色（10YR4/2）砂質土とにぶい黄橙色（10YR6/4）砂質土の互層状堆積 硬く締まる 土間か</p> <p>20層 にぶい黄褐色（10YR4/3）砂質土と黄褐色（10YR5/6）砂質土の互層状堆積 硬く締まる 土間か</p> <p>21層 暗褐色（10YR3/3）砂質土 炭化物・土器片含む</p>



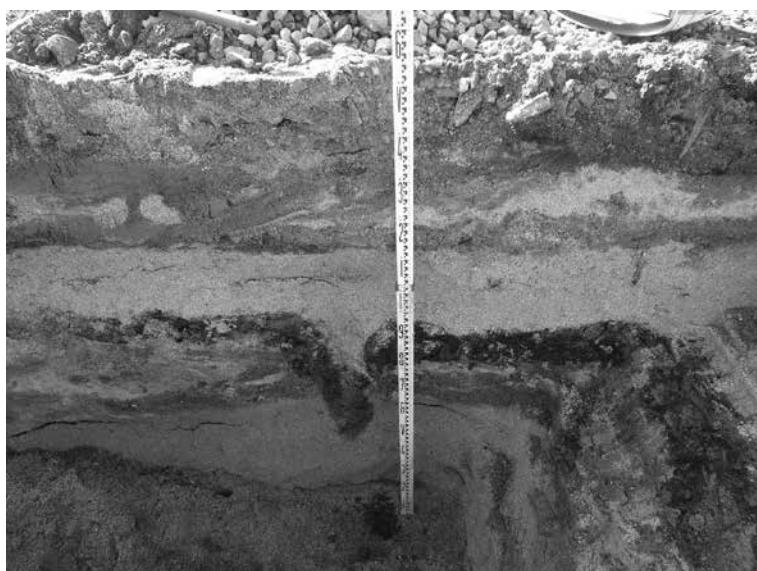
第9図 広島市東部地区連続立体交差事業計画地 土層断面図1 (1:40)



第10図 広島市東部地区連続立体交差事業計画地 土層断面図2 (1:40)



a T 1 (北西から)



b T 1 土層



c T 2 (南東から)



a T 3 (南東から)



b T 3 木炭・竹炭層 (17層), 貝層 (19層)



c T 3 遺構検出状況 (南から)



a T 4 (南東から)



b T 4 石組検出状況 (南東から)



c T 4 推定壁土廃棄状況



a T 5 土層



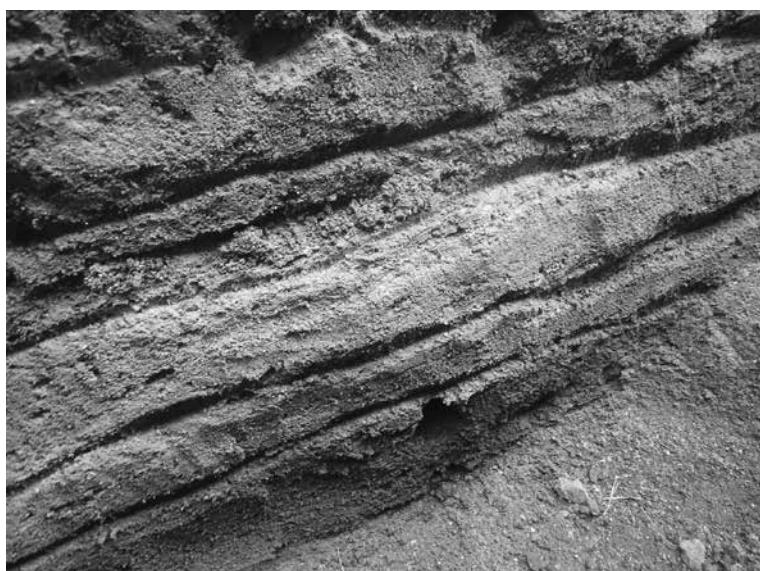
b T 6 土層



c T 7 (南西から)



a T 7 土層



b T 7 硬化層 (19・20層)



c T 7 推定壁土廃棄状況

3 農業競争力強化基盤整備事業（堀工区）に係る試掘調査

所 在 地：東広島市高屋町高屋東

調 査 目 的：農業競争力強化基盤整備事業に係る埋蔵文化財の有無及び範囲確認

開 発 事 業 者：広島県西部農林水産事務所（東広島農林事業所）

調 査 年 月 日：令和3年3月8日～3月12日、3月15日

調 査 対 象 面 積：22,738m²

調 査 結 果：御園宇城跡（中世、城館跡、面積3,033m²）を確認。

調 査 概 要：

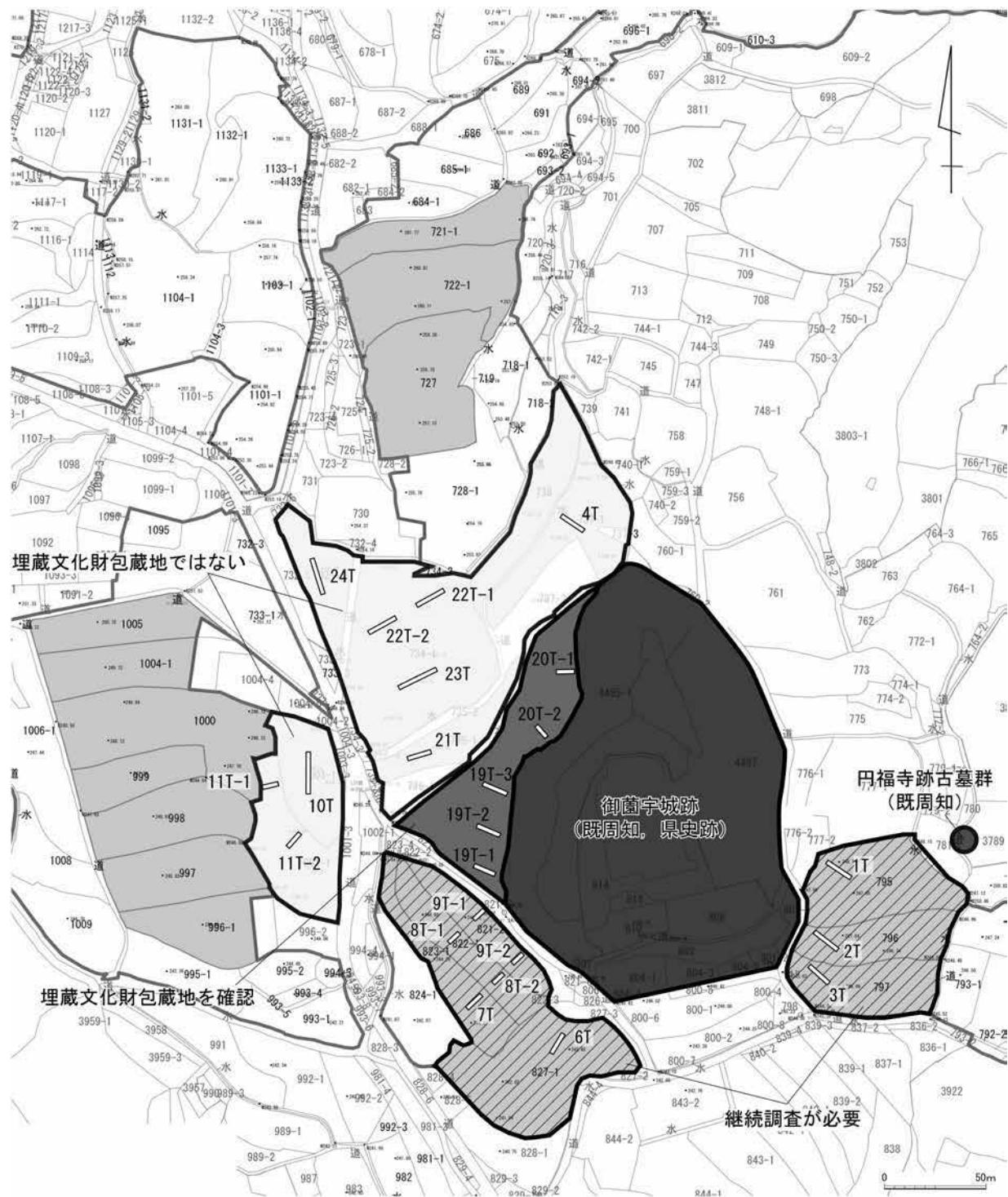
試掘調査の対象としたのは、次の箇所である。

- ① 広島県史跡平賀氏の遺跡御園宇城跡隣接地（堀等の関連遺構が存在する可能性が考えられる）
- ② 尾根上の斜面地（集落遺跡等が存在する可能性が考えられる）

試掘調査では、計23か所を重機により掘削した。各試掘坑とも、各層上面で遺構の有無を確認しながら、基盤層（湧水の場合は、発掘可能な深度）まで掘り下げた。19Tでは、19T-1で堀跡が確認されたため、19T-2及び19T-3では基盤層まで掘り下げ、遺構の有無を精査した。試掘調査は複数職員が分散し同時並行で行ったことから、記録の混乱を避けるため事前に計画した試掘坑に番号を割り振った。試掘開始後の状況に応じて追加した試掘坑には枝番号を付し、調査の過程で試掘不要と判断、あるいは日程等の都合により来年度以降に試掘を実施することとした試掘坑の番号は欠番とした。



第11図 農業競争力強化基盤整備事業（堀工区）に係る試掘調査地点位置図（1:25,000）
(国土地理院1:25,000地形図「白市」図幅を使用)



第12図 農業競争力強化基盤整備事業（堀工区）計画地試掘坑位置図（1：3,000）

基本層序は、次のとおりである。

I層・・・水田耕作土、床土、近世以降のほ場整備に伴う整地土

II層・・・黒色ないし黒褐色のシルト。今年度試掘範囲の北西部に部分的に認められる。現在の水田耕作土、水田造成時整地層の直下に認められ、近世以前の遺物を包含する上、下面是水平堆積でなく元の自然地形の表層を覆うように堆積していることから、水田の本格的開発が進む前に形成された

表土（腐植土）あるいはその再堆積層の可能性が高い。

Ⅲ層・・・自然堆積層（花崗岩風化分解土等の水成・風成堆積物）

IV層・・・基盤層（花崗岩風化岩盤）

1～3T, 6～9T-2及び堀跡を確認した19T-1～3, 20T-1～2は、他の調査範囲との間に谷や川を挟んでいる。また、ほかの調査地点より標高が低い。そのため、遺構確認面である基盤層の上を覆う灰褐色砂混シルト等の中には、他の調査範囲の第Ⅲ層に相当するか堀跡の埋土か、厳密に区分できなかった層もある（各試掘坑土層説明において、算用数字で層番号を記載）。

当該試掘調査では、19T-1～3で遺構を確認した。19T-1～3で確認した遺構は、いずれも御菌宇城跡の郭がある丘陵の裾に位置し、同丘陵と平行に延びる溝状の遺構であったことから、御菌宇城跡の堀跡と推定される。20T-1～2では、堀跡の肩部や壁面は確認していないが、基盤層上層の土が互層状に堆積する点、Ⅱ層に相当する土壤を含まない点で、19Tの堀跡埋土の堆積状況と共通している。御菌宇城跡の郭がある丘陵の裾に位置することも踏まえると、19T-1～3で確認した堀跡と一連の遺構の埋土である可能性も考えられる。その他の調査地点では遺構は確認していないが、多くの試掘坑で土器等が出土した。御菌宇城跡に隣接する2T, 6～9T, 19～20Tは御菌宇城跡から流れ込んだ可能性があるが、谷を隔てた10T, 11-1T, 22T-1～2, 24Tでも出土しており、より北側の斜面上方に、Ⅱ層下面からIV層上面のどこかを遺構検出面とする遺跡が存在する可能性がある。

以上から、当該試掘調査範囲における埋蔵文化財包蔵地の有無及び範囲等を次のように判断した。

御菌宇城跡西側隣接地（19T-1～3, 20T-1～2の試掘を行った水田）

埋蔵文化財包蔵地。19T-1～3では当該城跡の堀跡と推定される溝状遺構を確認し、20T-1～2においても同じ溝状遺構の埋土の続きと思われる土層の堆積を確認した。19T-1～3, 20T-1～2とも、試掘調査範囲の北西部に分布する黒色シルト（Ⅱ層）の流れ込みが認められないことから、19T-1～3及び20T-1～2の西側を流れる小川から少し間隔をおいて掘り込まれたものと考えられる。そのため、当該小川から東側の水田は全て既周知の御菌宇城跡と一体の範囲と判断した。

御菌宇城跡の東側～南側隣接地（1T～3T, 6T～9T-2の試掘を行った範囲）

今後、継続して調査が必要な範囲。6Tでは現地表下約1.4mの深さで、地山岩盤の平坦面を検出した。8T-2では現地表下約1.2m以下で地山岩盤が土手状に加工された状況を確認し、9T-1～2では現地表下1.0～1.6m以下で御菌宇城側の地山岩盤が急激に落ち込む状況を確認した。これらの地形改変痕跡については、時期や成因は未解明だが、相応の深度で確認されており、当該城跡の関連遺構である可能性が否定できない箇所があることから、来年度以降の試掘調査の結果も踏まえて判断する必要がある。

谷を隔てた試掘調査範囲の北西部（4T, 10T, 11T-1～2, 22T-1～24T）

埋蔵文化財包蔵地ではない。遺構は確認できず、出土した遺物はより北側の斜面上方（集落遺跡の立地に適した尾根上の緩斜面）から流れ込んだ可能性が高いと判断した。より北側の斜面上方については、来年度以降の試掘調査で遺跡の有無を確認する必要がある。

表6 農業競争力強化基盤整備事業（堀工区）計画地試掘坑所見

トレンチ No.	規模（長さ×幅 ×最大深さ、単 位m）	調査所見
1 T	5.0×1.0×1.16	I a層 (現地表面～現地表下20cm) 水田耕作土 I b層 黒褐色シルト質土 (2.5Y3/1, 現地表下20～32cm) 床土 III a層 にぶい黄褐色シルト質土 (10YR5/4, 現地表下26～60cm) 細砂・雲母を含む III b層 にぶい黄褐色シルト質土 (10YR5/3, 現地表下30～70cm) 炭化物・風化花崗岩礫 (径2cm) を含む III c層 にぶい黄褐色シルト質土 (10YR4/3, 現地表下40～85cm) 上面が酸化し黄褐色 (10YR5/8) がかる, 炭化物・風化花崗岩礫 (径3～5cm) を含む IV 層 黄褐色シルト質土 (10YR5/6, 現地表下50～116cmまで確認) 風化花崗岩 (径10～20cm) を含む
2 T	5.0×1.0×1.34	I 層 (現地表面～現地表下26cm) 水田耕作土 III a層 にぶい黄褐色シルト質土 (10YR5/3, 現地表下8～50cm) 細砂を含む III b層 にぶい黄橙色シルト質土 (10YR6/4) と黄褐色シルト質土 (10YR5/8) の互層 (現地表下20～85cm) 炭化物・風化花崗岩礫 (径3cm) を含む, 土器片包含 III c層 にぶい黄褐色シルト質土 (10YR5/4) 黄褐色シルト質土 (10YR5/8) をまだらに含む (現地表下34～90cm), 炭化物・風化花崗岩礫 (径5cm)・細砂・雲母を含む III d層 にぶい黄褐色シルト質土 (10YR5/4) 黄褐色シルト質土 (10YR5/6) をまだらに含む (現地表下49～122cm), 炭化物を含む, 土器片包含 III e層 にぶい黄橙色シルト質土 (10YR6/4, 現地表下105～135cm) 細砂を含む, 一部粘質化 IV 層 上面に黄褐色シルト質土 (10YR5/8) が堆積 (現地表下43～134cmまで確認 (以下湧水)) 花崗岩風化岩盤
3 T	4.6×1.0×1.12	I 層 (現地表面～現地表下26cm) 水田耕作土 III a層 灰オリーブ色シルト質土 (7.5Y5/2, 現地表下12～56cm), 褐色シルト質土 (10YR4/6) をまだらに含む, 砂粒・風化花崗岩礫 (径1cm) を含む, グライ化 III b層 オリーブ灰色砂質土 (10Y5/2, 現地表下26～110cm), 下面に腐朽した木・炭化物・黄褐色 (10YR5/8) シルト質土・風化花崗岩礫を含む, 下位は粘質化 III c層 灰色シルト質土 (7.5Y4/1, 現地表下72～112cmまで確認 (以下湧水)), 砂礫を含む, 下方は水分により粘質化, グライ化, 保水層 IV 層 黄褐色シルト質土～砂質土 (10YR5/8, 現地表下68～110cmまで確認) 花崗岩風化岩盤
4 T	5.0×1.0×0.9	（遺構・遺物なし） I a層 (現地表面～現地表下15cm) 水田耕作土 I b層 灰黄褐色シルト質土 (10YR4/2, 現地表下15～25cm) 床土 I c層 黒褐色シルト質土 (10YR3/2, 現地表下25～40cm) 細砂・雲母を含む I d層 にぶい黄褐色シルト質土 (10YR4/3) 雲母を含む, 黑褐色シルト質土 (10YR3/2), にぶい黄褐色砂質土 (10YR5/3), 明黄褐色粘質土 (10YR6/6), 灰黄褐色粘質土 (10YR4/2) の互層状 (現地表下40～76cm), 近世以降の客土の可能性あり I e層 黒褐色 (10YR3/2, 現地表下40～80cm) 風化した花崗岩ブロックを含む II 層 黒色シルト質土 (10YR2/1, 現地表下80～90cmまで確認 (以下湧水))

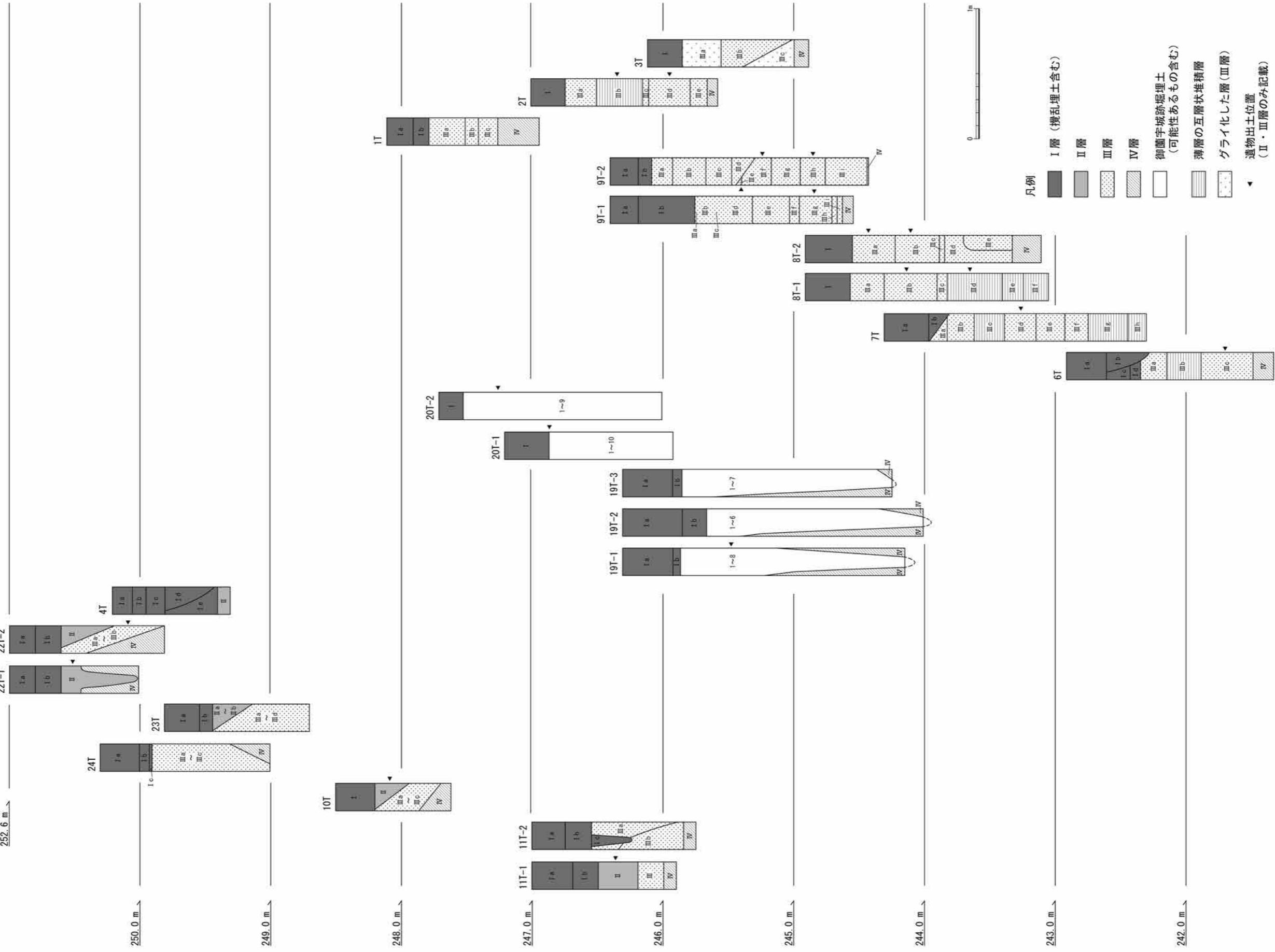
トレンチ No	規模（長さ×幅 ×最大深さ、単 位m）	調査所見
6 T	3.5×1.0×1.58	<p>I a層 (現地表面～現地表下30cm) 水田耕作土</p> <p>I b層 褐色砂質土 (10YR4/4, 現地表下26～62cm) 近現代の客土の可能性あり</p> <p>I c層 褐色砂質土 (10YR4/4, 現地表下23～48cm) 近現代の客土の可能性あり, にぶい黄褐色 (10YR5/4) シルト質土が縞状に混じる, 上面に近代瓦を包含</p> <p>I d層 にぶい黄褐色シルト質土 (10YR5/4, 現地表下34～56cm) にぶい黄褐色砂質土 (10YR5/6) が混じる, 近現代の客土の可能性あり,</p> <p>III a層 にぶい黄褐色シルト質土 (10YR5/3, 現地表下40～76cm) 上位ほど黒色鉱物が多く混じる</p> <p>III b層 にぶい黄褐色シルト質土 (10YR5/3) と黄褐色シルト質土 (10YR5/8) の互層 (現地表下68～102cm), 下方に風化花崗岩礫 (径3cm) を含む</p> <p>III c層 にぶい黄褐色シルト質土 (10YR5/3, 現地表下98～142cm) 細砂を含む, 土器片包含</p> <p>IV 層 黄褐色砂質土 (10YR5/8, 現地表下136～158cmまで確認)</p>
7 T	4.0×1.0×2.0 (南寄りの深さ 1.6)	<p>I a層 (現地表面～現地表下34cm, 層厚は西端計測値, 以下同) 水田耕作土 〈1～3層は攪乱坑埋土〉</p> <p>1 層 黄褐色シルト質土 (2.5Y5/3) 細砂を含む</p> <p>2 層 黄灰色シルト質土 (2.5Y6/1) 黄褐色砂質土 (10YR5/8) が混じる, 細砂を含む</p> <p>3 層 灰黄褐色シルト質土 (10YR5/2) 腐朽した木・粗い砂・花崗岩礫 (径1cm) を含む</p> <p>I b層 灰オリーブ色シルト質土 (7.5Y5/2, 現地表下34～50cm) 細砂を含む, 上面にビニール紐を含む</p> <p>III a層 にぶい黄褐色砂質土 (10YR5/3, 現地表下34～48cm)</p> <p>III b層 灰黄褐色砂質土 (10YR4/2, 現地表下48～69cm) 上面は酸化して赤味がかる</p> <p>III c層 褐色シルト質土 (10YR4/4), にぶい黄褐色シルト質土 (10YR5/3), 明黄褐色粘質土 (10YR7/6) の互層 (現地表下68～92cm)</p> <p>III d層 灰黄褐色粘質土 (10YR4/2, 現地表下92～116cm) 花崗岩礫 (径1cm) を含む, 土器片包含</p> <p>III e層 灰黄褐色シルト質土 (10YR5/2, 現地表下116～138cm) 上面は酸化して赤味がかる</p> <p>III f層 黒褐色シルト質土 (10YR3/2, 現地表下138～156cm)</p> <p>III g層 黒褐色砂質土 (10YR2/3) とにぶい黄橙色砂質土 (10YR6/4) の互層 (現地表下156～186cm)</p> <p>III h層 黄褐色砂質土 (10YR5/6), にぶい黄橙色砂質土 (10YR6/4), 灰黄褐色シルト質土 (10YR4/2) の互層 (現地表下186～200cmまで確認)</p>
8 T - 1	3.0×1.0×1.86	<p>I 層 (現地表面～現地表下34cm) 水田耕作土</p> <p>III a層 にぶい黄褐色シルト質土 (10YR5/3, 現地表下28～60cm) 細砂・花崗岩礫 (径3～5cm) を含む</p> <p>III b層 褐色シルト質土 (10YR4/6), にぶい黄褐色シルト質土 (10YR4/2, 炭化物を包含), にぶい黄褐色砂質土 (10YR5/3) が混じる (現地表下48～100cm) 土器片包含</p> <p>III c層 黑褐色シルト質土 (10YR3/2, 現地表下76～108cm) しまりなし, 炭化物を含む</p>

トレンチ No	規模（長さ×幅 ×最大深さ、単 位m）	調査所見	
8 T - 1	3.0×1.0×1.86	III d 層 III e 層 III f 層	にぶい黄橙色砂質土（10YR7/3）と灰黃褐色砂質土（10YR4/2）の互層（現地表下102～150cm）土器片包含 黒褐色砂質土（10YR3/2）とにぶい黄橙色砂質土（10YR7/3）の互層（現地表下146～166cm）上面は酸化し黄味がかる 灰黃褐色砂質土（10YR4/2）、黃褐色砂質土（10YR5/8）、にぶい黄橙色砂質土（10YR7/3）の互層（現地表下164～186cmまで確認）
8 T - 2	3.0×1.0×1.8	I 層 III a 層 III b 層 III c 層 III d 層 III e 層 IV 層	（現地表面～現地表下36cm）水田耕作土 明黃褐色シルト質土（10YR6/6、現地表下25～68cm）細砂を含む、土器片包含 灰黃褐色シルト質土（10YR4/2、現地表下46～102cm）褐色シルト質土（10YR4/6）がまだらに混じる（下方には沈殿）、細砂・花崗岩礫（径2～3cm）・土器片包含 黃褐色砂質土（10YR4/6、現地表下92～106cm） にぶい黄褐色シルト質土（10YR4/3、現地表下92～158cm）、褐色砂質土（10YR4/6）が混じる、花崗岩礫（径5cm）を含む 暗褐色シルト質土（10YR3/3、現地表下110～154cm）細砂を含む 黃褐色砂質土（10YR5/6、現地表下114～180cmまで確認）
9 T - 1	3.0×1.0×1.78	I a 層 I b 層 III a 層 III b 層 III c 層 III d 層 III e 層 III f 層 III g 層 III h 層 III i 層 IV 層	（現地表面～現地表下22cm）水田耕作土 （現地表下16～66cm）近現代客土、腐朽した木・手袋を含む、土器片包含 褐灰色シルト質土（10YR4/1、現地表下40～68cm） オリーブ灰色シルト質土（2.5GY5/1、現地表下64～80cm）細砂を含む にぶい黄褐色シルト質土（10YR5/3、現地表下66～84cm）褐色シルト質土（10YR4/6）が混じる、上面は酸化し赤みがかる 明黃褐色砂質土（10YR7/6、現地表下76～110cm）にぶい黄褐色シルト質土（10YR5/3）が混じる にぶい黄褐色シルト質土（10YR5/3、現地表下94～138cm） 黃褐色砂質土（10YR5/8、現地表下100～145cm）にぶい黄褐色シルト質土（10YR5/3）・明黃褐色砂質土（10YR7/6）が混じる にぶい黄褐色シルト質土（10YR4/3、現地表下106～170cm）細砂を含む、土器片包含 明黃褐色砂質土（10YR6/8、現地表下157～174cm）黑色物質・花崗岩礫（径3cm）を含む にぶい黄褐色シルト質土（10YR5/3、現地表下160～178cmまで確認）、花崗岩礫（径5～10cm）を含む （現地表下160～178cmまで確認）白色と暗褐色が斑状に混じる
9 T - 2	3.0×1.0×1.98	I a 層 I b 層 III a 層 III b 層 III c 層 III d 層 III e 層 III f 層	（現地表面～現地表下22cm）水田耕作土 黃褐色シルト質土（10YR5/6、現地表下20～32cm） にぶい黄褐色シルト質土（10YR5/3、現地表下30～48cm）細砂・黑色物質を含む 褐色シルト質土（10YR4/4、現地表下44～74cm）細砂を含む にぶい黄褐色シルト質土（10YR5/4、現地表下66～94cm）細砂・花崗岩礫（径1cm）を含む 褐色シルト質土（10YR4/4、現地表下76～112cm）風化花崗岩（径30cm）を含む 黃褐色砂質土（10YR5/6、現地表下78～102cm）下面に土器片包含 にぶい黄褐色シルト質土（10YR5/4、現地表下94～124cm）細砂を含む、土器片包含

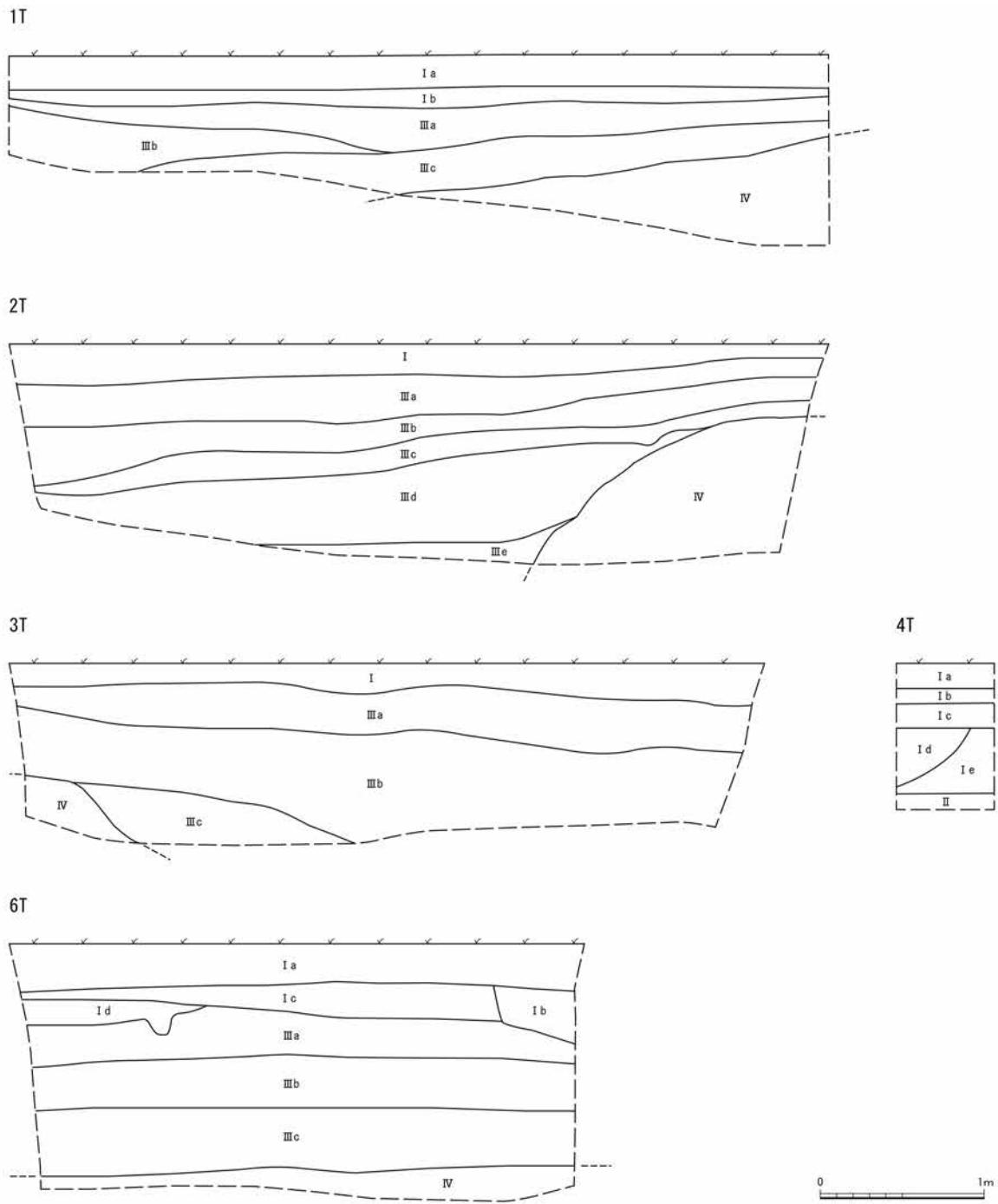
トレンチ No	規模（長さ×幅 ×最大深さ、単 位m）	調査所見	
9 T - 2	3.0×1.0×1.98	III g 層 褐色シルト質土（10YR4/4, 現地表下114~146cm) 砂を含む, 上面に黒色物質を含む III h 層 にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3, 現地表下126~165cm) 褐色砂質土（10YR4/6) が混じる, 土器片包含 III i 層 にぶい黄褐色砂質土（10YR5/4, 現地表下129~197cmまで確認) IV 層 (現地表下100~198cmまで確認) 花崗岩風化岩盤	
10 T	14.0×1.0×0.65 (北端) (中央は深さ 0.8)	I 層 黒灰色砂混シルト質土（現地表面～現地表下30cm) 水田耕作土 II 層 黒色砂混シルト質土（現地表下30~55cm) 土器片（土師質土器, 近世陶器） 包含 III a 層 灰黄褐色砂混シルト質土（現地表下50~80cm) 中央～南寄りで認められる III b 層 灰黄色砂混シルト質土（現地表下30~80cm) III c 層 灰黄褐色中粒砂（現地表下40~65cm) IV 層 黄灰色中粒砂（現地表下65cm以深)	
11 T - 1	4.0×1.0×1.0	I a 層 黒灰色砂混シルト質土（現地表面～現地表下30cm) 水田耕作土 I b 層 にぶい黄橙色砂混シルト質土（現地表下30~50cm) 水田造成時の盛土か II 層 黒灰色砂混シルト質土（現地表下50~80cm) 植物の根を含む, 土器片（土師質土器）包含 III 層 灰黄褐色粘土（現地表下80~100cm) IV 層 黄灰色粘土（現地表下100cm以深)	
11 T - 2	4.0×1.0×1.2	〈遺構・遺物なし〉 I a 層 黒灰色砂混シルト質土（現地表面～現地表下25cm) 水田耕作土 I b 層 灰褐色砂混シルト質土（現地表下25~45cm) I c 層 黒色砂混シルト質土（現地表下45~75cm) 落込み（杭跡か）埋土, 植物の根を含む III a 層 黑褐色砂混シルト質土（現地表下45~110cm) III b 層 橙色砂混シルト質土（現地表下60~115cm) IV 層 明黄褐色砂混シルト質土（現地表下115cm以深) 花崗岩の砂粒（径1cm) や礫（径20cm) を含む	
19 T - 1	6.3×1.0×2.1	I a 層 黒褐色砂混シルト質土（現地表面～現地表下38cm) 水田耕作土 I b 層 灰白色土（現地表下22~44cm) 床土 〈1～8層は, 堀跡の埋土あるいは堀跡埋没後の自然堆積土・流入土〉 1 層 にぶい橙色砂混シルト質土（現地表下24~68cm) 2 層 にぶい黄橙色砂混シルト質土（現地表下50~85cm) 土器片（青磁）包含 3 層 灰黄褐色砂混シルト質土（現地表下70~158cm) 土器片（土師質土器）包含 4 層 明黄褐色砂質シルト質土（現地表下110~156cm) 5 層 にぶい黄褐色砂混シルト質土（現地表下110~154cm) 橙色の土をまだらに含む 6 層 褐灰色砂混シルト質土（現地表下152~190cm) 水分を多く含む, 下部は褐色・粘土の互層 7 層 にぶい黄褐色砂混シルト質土（現地表下130~190cm) 8 層 明黄褐色砂混シルト質土（現地表下158~215cmまで確認（以下湧水)) 青灰色・ 橙色の土をまだらに含む, 最下部に土器片（中世陶器）包含 IV 層 (現地表下94cm以深) 花崗岩風化岩盤	
19 T - 2	6.3×1.0×2.3	I a 層 黒褐色土（現地表面～45cm) 水田耕作土 I b 層 浅黄色土（現地表下30~64cm) 床土 〈1～6層は, 堀跡の埋土あるいは堀跡埋没後の自然堆積土・流入土〉	

トレンチ No	規模（長さ×幅 ×最大深さ、単 位m）	調査所見
19T-2		<p>1 層 青灰色土（現地表下44～145cm）</p> <p>2 層 にぶい黄橙色土（現地表下56～104cm）</p> <p>3 層 灰黄褐色土（現地表下76～164cm）</p> <p>4 層 褐灰色土（現地表下88～156cm）上位に明黄褐色の砂を多く含む</p> <p>5 層 灰色粘土と橙色砂質土の互層（現地表下130～200cm）</p> <p>6 層 灰黄褐色・明黄褐色・灰白色砂質土の互層（現地表下126～230 cmまで確認（以下湧水））</p> <p>IV 層 （現地表下80cm以深）花崗岩風化岩盤</p>
19T-3	5.8×1.0×2.1	<p>I a 層 黒褐色砂混シルト質土（現地表面～現地表下38cm）水田耕作土</p> <p>I b 層 灰白色土（現地表下24～45cm）床土 〈1～7層は、堀跡の埋土あるいは堀跡埋没後の自然堆積土・流入土〉</p> <p>1 層 褐灰色砂混シルト質土（現地表下30～64cm）下部は橙色</p> <p>2 層 褐灰色砂混シルト質土（現地表下50～122cm）</p> <p>3 層 灰黄褐色砂混シルト質土（現地表下84～148cm）</p> <p>4 層 灰色粘土（現地表下114～172cm）</p> <p>5 層 青灰色砂質土（現地表下150～182cm）</p> <p>6 層 褐色砂質土（現地表下84～192cm）</p> <p>7 層 灰黄褐色砂混シルト質土（現地表下180～205cmまで確認（以下湧水））</p> <p>IV 層 （現地表下73cm以深）花崗岩風化岩盤</p>
20T-1	3.0×1.0×1.3	<p>I 層 （現地表面～現地表下34cm）表土 〈1～10層は、堀跡の埋土あるいは堀跡埋没後の自然堆積土・流入土〉</p> <p>1 層 にぶい黄褐色シルト質土（10YR5/4, 現地表下22～57cm）細砂を含む, I層との境目に土器片包含</p> <p>2 層 にぶい黄褐色シルト質土（10YR5/4, 現地表下40～74cm）と明黄褐色シルト質土（10YR6/8）の互層</p> <p>3 層 にぶい黄橙色シルト質土（10YR6/4, 現地表下62～96cm）細砂・黒色鉱物を含む</p> <p>4 層 黄褐色砂質土（10YR5/6, 現地表下80～97cm）</p> <p>5 層 にぶい黄褐色粘質土（10YR5/4, 現地表下82～96cm）細砂を含む</p> <p>6 層 黄褐色砂質土（10YR5/8, 現地表下88～110cm）</p> <p>7 層 にぶい黄褐色粘質土（10YR5/4, 現地表下94～120cm）橙色シルト質土（7.5YR6/8）が混じる</p> <p>8 層 にぶい黄褐色粘質土（10YR5/4, 現地表下66～124cm）明黄褐色シルト質土（10YR6/8）・細砂を含む</p> <p>9 層 明黄褐色シルト質土（10YR5/8, 現地表下106～128cm）細砂を含む</p> <p>10 層 暗オリーブ灰色粘質土（2.5GY4/1, 現地表下110～128cmまで確認（以下湧水））</p>
20T-2	3.0×1.0×1.7	<p>I 層 （現地表面～現地表下18cm）表土 〈1～9層は、堀跡の埋土あるいは堀跡埋没後の自然堆積土・流入土〉</p> <p>1 層 にぶい黄褐色シルト質土（10YR5/4, 現地表下18～36cm）細砂を含む</p> <p>2 層 黄褐色砂質土（10YR5/6, 現地表下34～40cm）</p> <p>3 層 にぶい黄褐色シルト質土（10YR5/4, 現地表下40～74cm）黒色鉱物を含む</p> <p>4 層 にぶい黄褐色シルト質土（10YR5/4, 現地表下64～90cm）細砂を含む</p> <p>5 層 白色・黄褐色シルト質土（10YR5/6）が入り混じる（現地表下75～116cm）</p> <p>6 層 明黄褐色シルト質土（10YR6/6, 現地表下100～130cm）</p> <p>7 層 にぶい黄褐色粘質土（10YR5/4, 現地表下122～170cm）上面は酸化し橙色がかる</p> <p>8 層 にぶい黄橙色粘質土（10YR6/4, 現地表下128～170cm）</p>

トレンチ No	規模（長さ×幅 ×最大深さ、単 位m）	調査所見	
20T-2	3.0×1.0×1.7	9 層	暗褐色砂質土（10YR3/3, 現地表下150~170cmまで確認（以下湧水））土器片包含
21T	-	〈遺構・遺物なし〉湧水のため水田耕作土表層部で掘削停止。	
22T-1	10.0×1.0×1.0	I a層 I b層 II 層 IV 層	黒灰色砂混シルト質土（現地表面～現地表下20cm）水田耕作土 橙褐色砂混シルト質土（現地表下20～40cm）現水田の造成に伴う整地層か 黒色砂混シルト質土（現地表下40～100cm）土器片（土師器）包含 淡灰褐色砂混シルト質土（現地表下55～100cmまで確認）花崗岩角礫を含む
22T-2	10.0×1.0×1.2	I a層 I b層 II 層 III a層 III b層 I 層 IV 層	黒灰色砂混シルト質土（現地表面～現地表下30cm）水田耕作土 橙褐色砂混シルト質土（現地表下20～40cm） 黒色砂混シルト質土（現地表下30～80cm） 灰黃褐色砂混シルト質土（現地表下30～120cm）試掘坑東寄りで認められる 灰黃褐色砂混シルト質土（現地表下40～70cm）花崗岩角礫（径10cm）・土器片（須恵器、近世陶器）包含、試掘坑西寄りで認められる。III a層分布範囲との間にII層が深くまで入り込んでおり、III a層との上下関係は不明 褐灰色砂混シルト質土（現地表下65～95cm）小土坑埋土 東寄りは灰色中粒砂（現地表下60～120cmまで確認）、西寄りはにぶい黄褐色中粒砂（現地表下70～120cm）
23T	8.0×1.0×1.1	〈遺構・遺物なし〉 I a層 I b層 II a層 II b層 III a層 III b層 III c層 III d層	黒灰色砂混シルト質土（現地表面～現地表下26cm）水田耕作土 褐灰色砂混シルト質土（現地表下10～36cm）床土 黒色砂混シルト質土（現地表下30～64cm）南北方向に溝状に堆積 黒色砂混シルト質土（現地表下20～60cmまで確認）南北方向に溝状に堆積 明黄褐色砂混シルト質土（現地表下30～50cm） 褐灰色砂混シルト質土（現地表下20～77cmまで確認） にぶい黄橙色中粒砂（現地表下38～70cmまで確認）小さい花崗岩礫を含む 灰黃褐色砂質土（現地表下55～110cmまで確認（以下湧水））
24T	16.0×1.0×1.3 (北寄りの深さ 1.5)	I a層 I b層 I c層 III a層 III b層 III c層 III d層 IV 層	黒灰色砂混シルト質土（現地表面～現地表下30cm）水田耕作土 淡黄色砂混シルト質土（現地表下30～38cm）旧ほ場整備の盛土（北寄りのみ認められる） 灰色砂混シルト質土（現地表下38～40cm）旧耕作土（北寄りのみ認められる） 灰色砂混シルト質土（現地表下30～55cm）上面～3cmまで橙色を帯びる、花崗岩礫（径10cm）を含む 灰褐色砂混シルト質土（現地表下45～110cm）下部へ近づくほど褐色及び粘性が強い、炭化物を含む、最下部に土器片包含 灰色中粒砂（現地表下110～130cmまで確認（以下湧水））水成堆積層、植物の根や茎を多く含む、花崗岩角礫（径20cm以下）を含む、南寄りのみ細分可能 灰色砂混シルト質土（上部ほど淡色、現地表下55～100cm）北寄りでのみ確認 橙褐色砂混粘土（現地表下100～115cmまで確認）北寄りでのみ確認

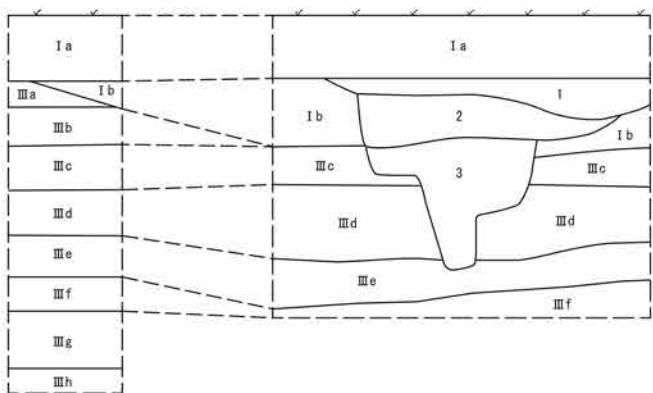


第13図 農業競争力強化基盤整備事業（堤工区）計画地土層柱状対比図 (1 : 30)

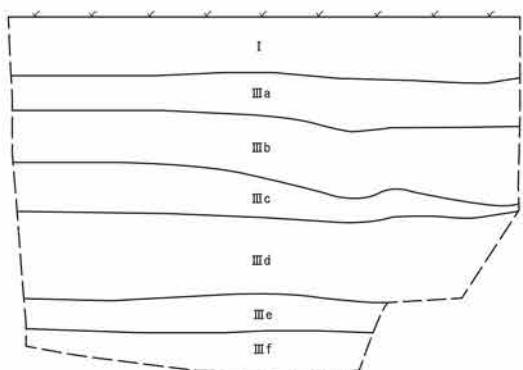


第14図 農業競争力強化基盤整備事業（掘工区）計画地土層断面図1 (1 : 40)

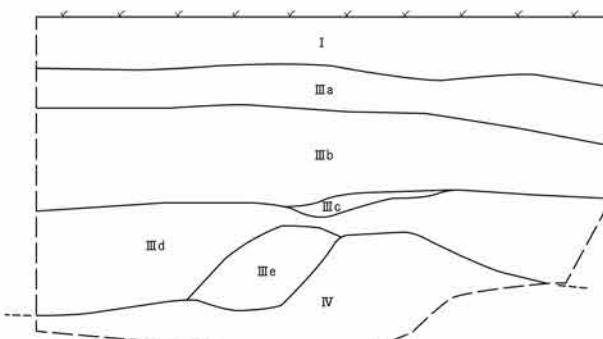
7T



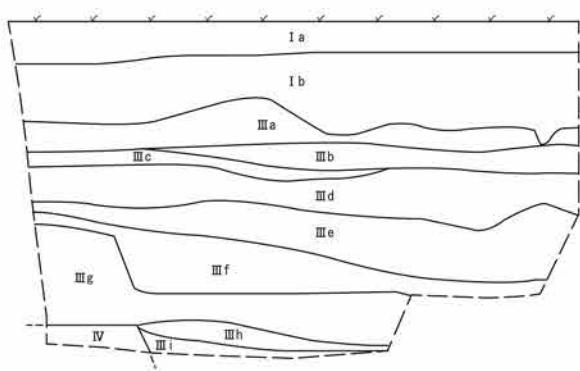
8T-1



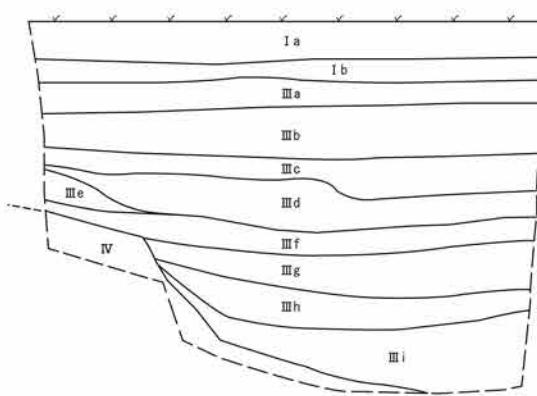
8T-2



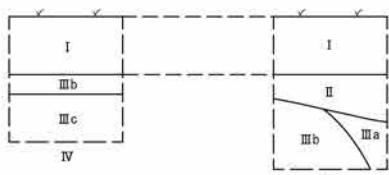
9T-1



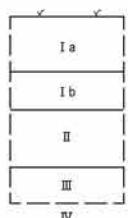
9T-2



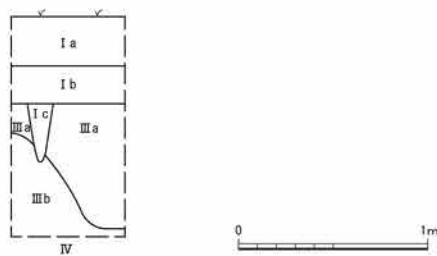
10T



11T-1

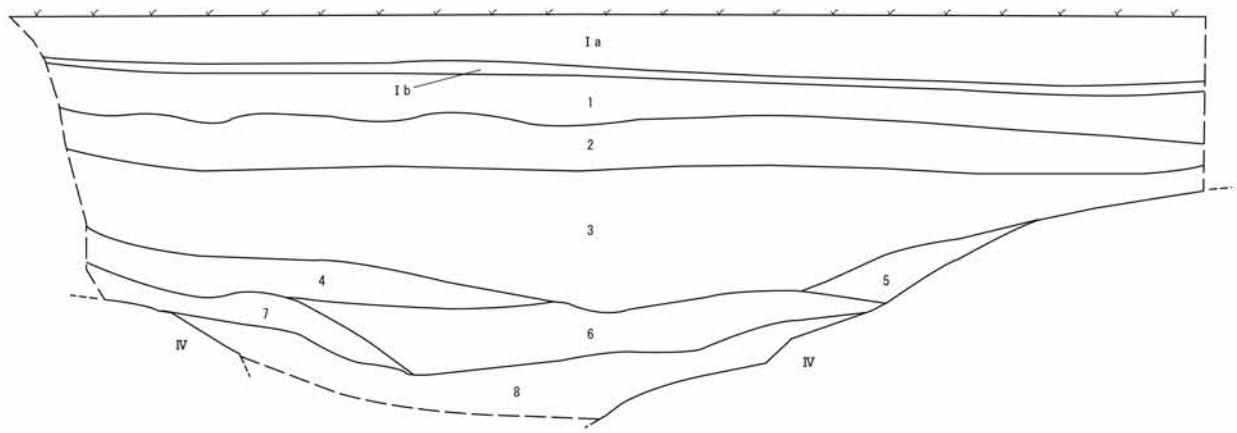


11T-2

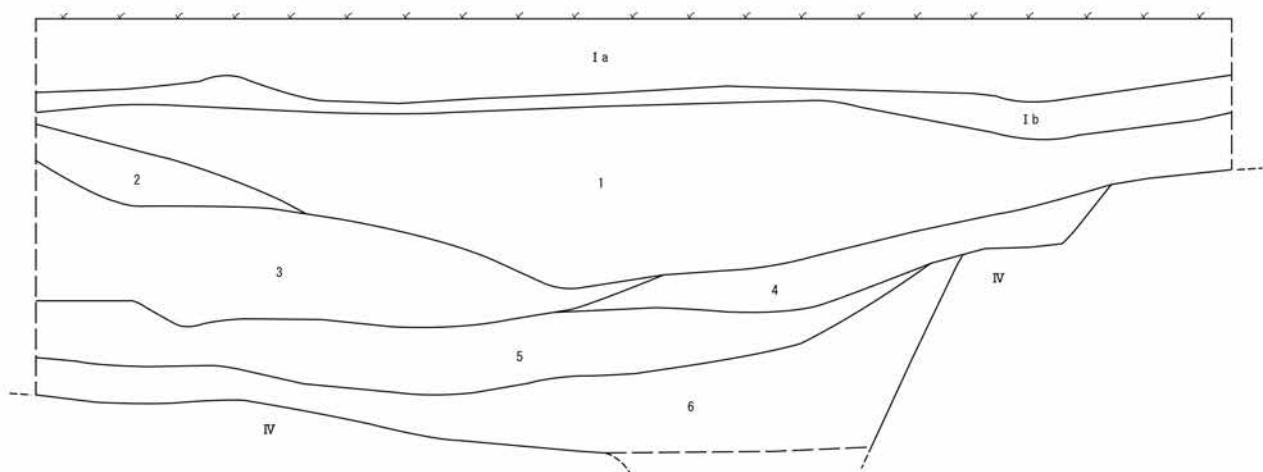


第15図 農業競争力強化基盤整備事業（堀工区）計画地土層断面図2（1:40）

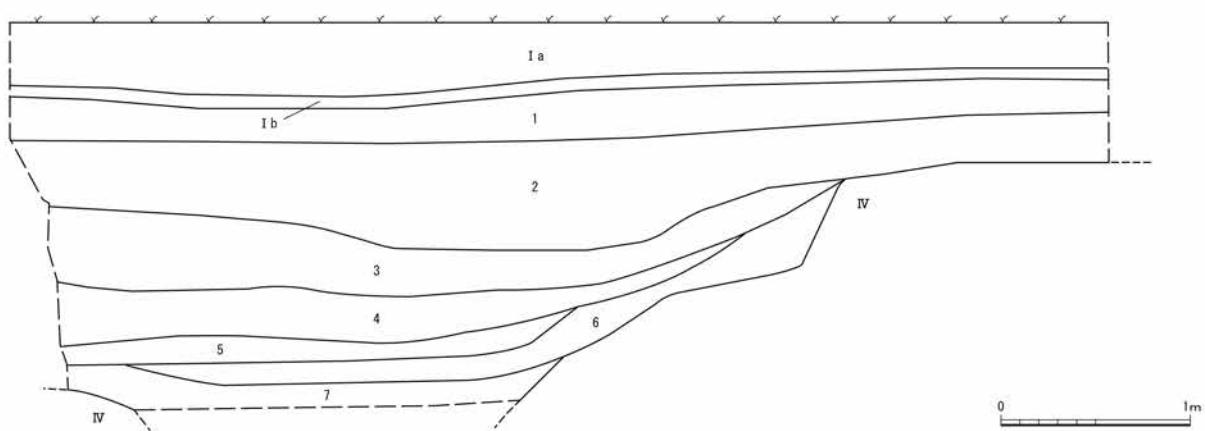
19T-1



19T-2

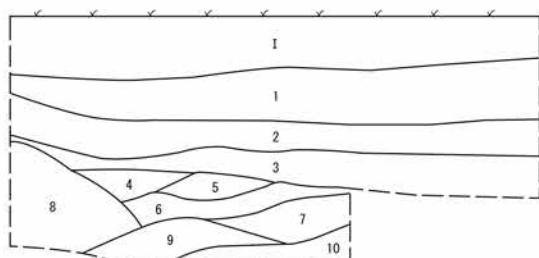


19T-3

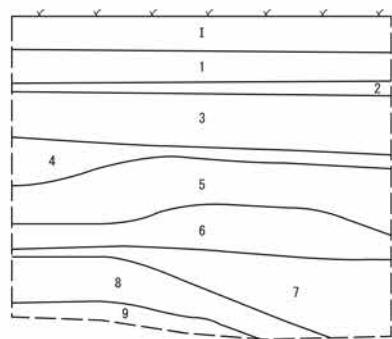


第16図 農業競争力強化基盤整備事業（堀工区）計画地土層断面図3 (1:40)

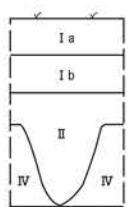
20T-1



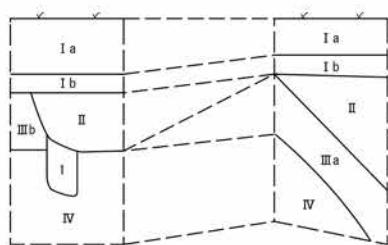
20T-2



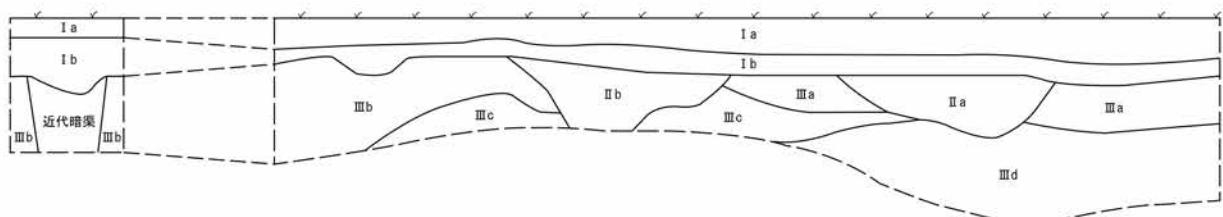
22T-1



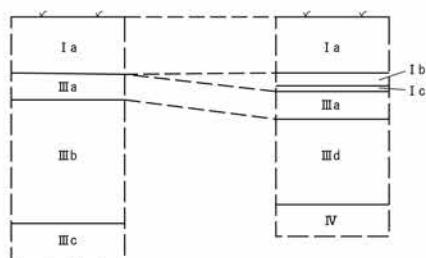
22T-2



23T



24T



0 1m

第17図 農業競争力強化基盤整備事業（堀工区）計画地土層断面図4（1:40）



a 1 T (東から)



b 2 T (東から)



c 3 T (南から)



a 4 T (北から)



b 6 T (北から)



c 6 T 土層



a 7 T 土層



b 8 T - 1 土層



c 8 T - 2 土層



d 8 T - 2 地山盤加工状況 (北西から)



a 9T-1 土層



b 9T-1 地山岩盤加工状況
(南西から)



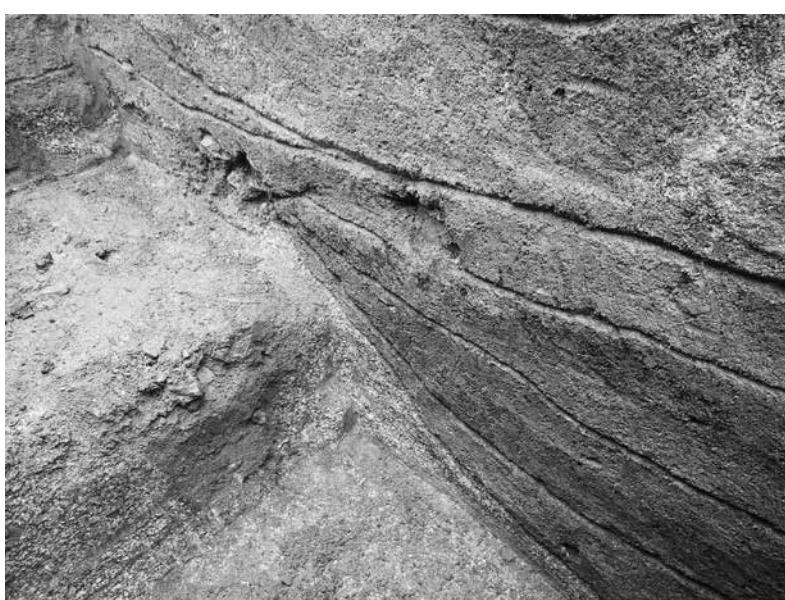
e 6T~9T 遠景 (北西から)
(左端が御薙宇城跡)



c 9T-2 土層



f 10T (南西から)



d 9T-2 地山岩盤加工状況
(南西から)



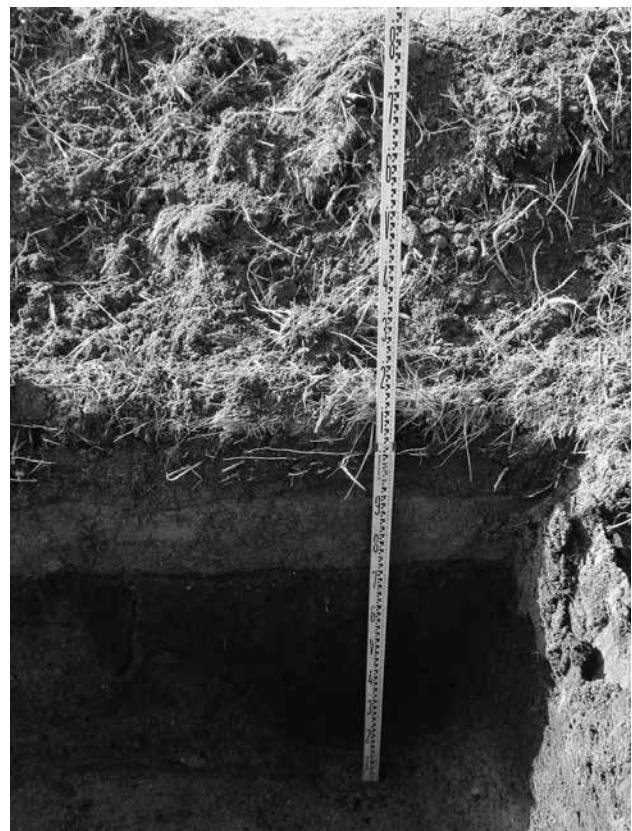
a 11T-1 (南西から)



b 11T-1 土層



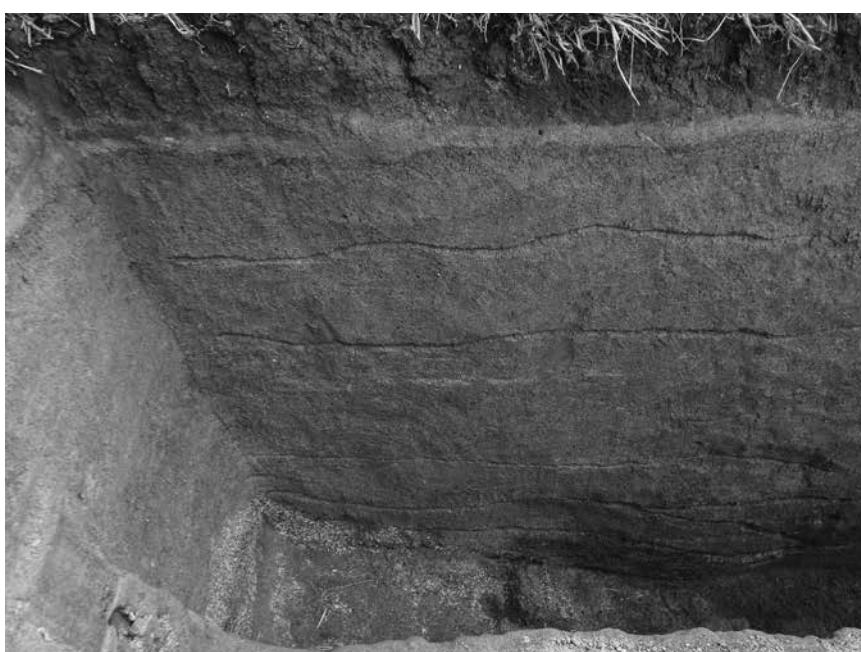
c 11T-2 (南東から)



d 11T-2 土層



a 19T - 1 (北西から)



b 19T - 1 土層



(左上)

a 19T - 2 (北西から)

(左中)

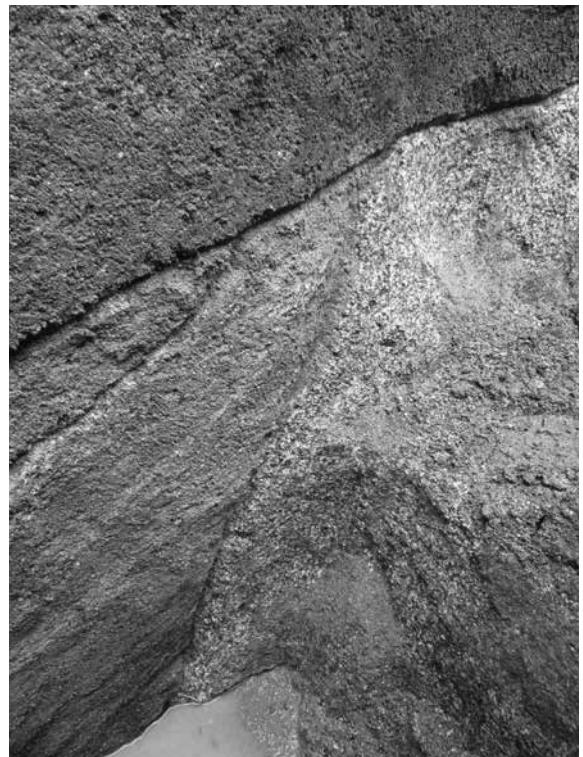
b 19T - 2 土層 (中央)

(左下)

c 19T - 2 土層 (西端)

(右下)

d 19T - 2 地山岩盤加工状況
(北東から)

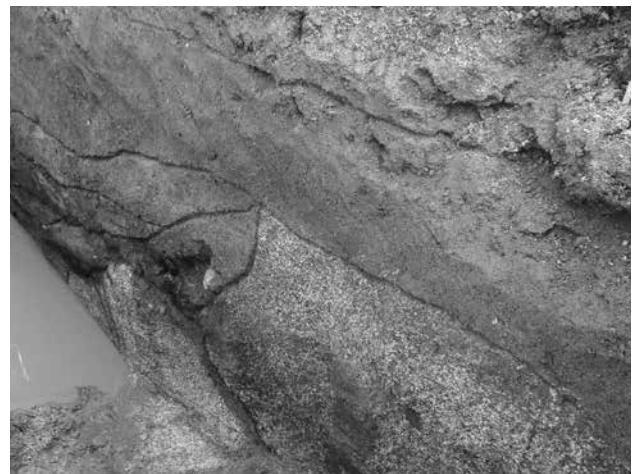




a 19T-3 (北西から)



b 19T-3 土層 (東端)



c 19T-3 地山岩盤加工状況 (北西から)



a 20T-1 (東から)



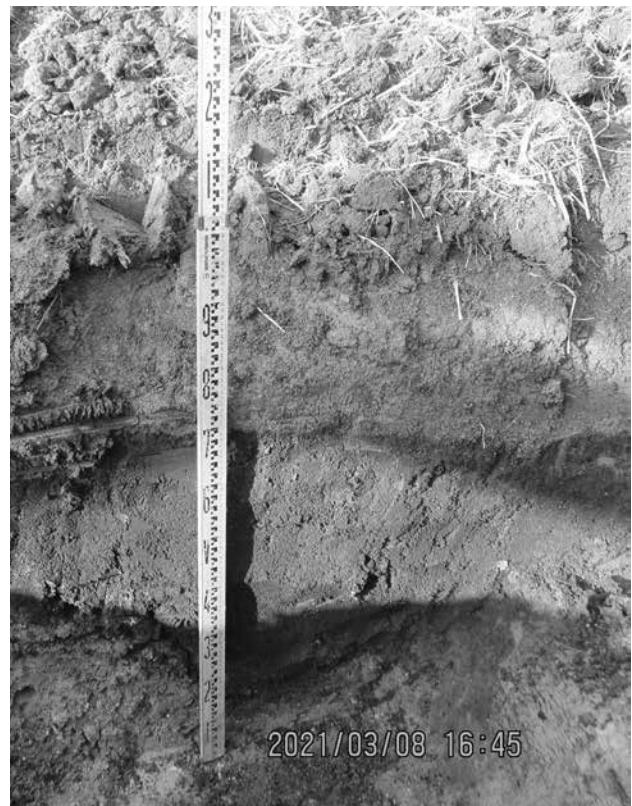
b 20T-2 (北東から)



c 19T～20T遠景 (北西から)



a 22T-1 (南東から)



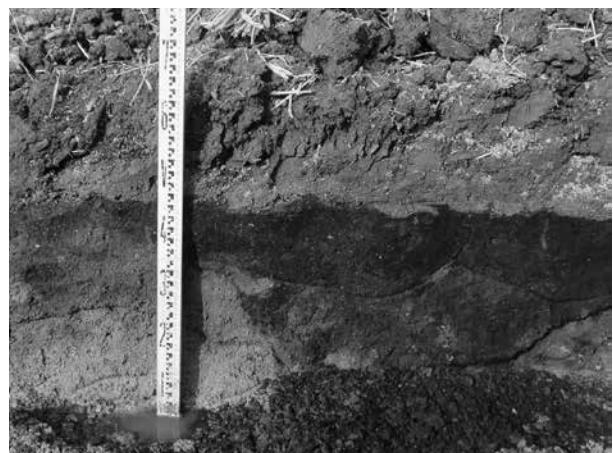
b 22T-1 土層



c 22T-2 (南西から)



d 22T-2 (南東から)



(左上)

a 23T (南西から)

(右上)

b 23T 近代暗渠 (南から)

(右中)

c 23T 土層

(左下)

d 24T (南東から)

(右下)

e 24T 土層

報 告 書 抄 錄

ふりがな	れいわにねndo hiroshima-ken-naiiiseki-haku-fuchou-sa (shou-sai-bunbu-chou-sa) houkoku-sho						
書 名	令和2年度広島県内遺跡発掘調査（詳細分布調査）報告書						
編著者名	村田 晋, 中山倫希江, 和田 祐, 沖 憲明						
編集機関	広島県教育委員会事務局管理部文化財課						
所在地	〒730-8514 広島県広島市中区基町9番42号 TEL082-513-5023						
発行年月日	西暦2022年3月31日						
所収遺跡名	所在地	コード	北緯	東経	発掘期間	遺跡面積 (m ²)	発掘原因
かいたちまちやあと 海田市町屋跡	ひろしまけんあきぐん 広島県安芸郡 かいたちょうかみいち 海田町上市	34304	34° 22' 19"	132° 32' 9"	20201125 ～ 20201201	3,722	試掘調査
みそのうじょうあと 御園宇城跡	ひろしまけんひがしひろしま 広島県東広島市 たかやちょうたかやほり 高屋町高屋堀	34212 -906	34° 28' 16"	132° 48' 2"	20210308 ～ 20210315	3,033	試掘調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
海田市町屋跡	集落跡	近世	便所, 石組	陶磁器			
御園宇城跡	城館跡	中世	堀	土器, 陶磁器			
要 約	大規模開発事業等に先立ち、令和2年度に実施した埋蔵文化財の分布調査及び試掘・確認調査の成果を収録した。令和2年度に現地踏査等27件、試掘・確認調査3事業5地点を実施した結果、埋蔵文化財包蔵地2か所を確認した。						

令和2年度 広島県内遺跡発掘調査（詳細分布調査）報告書

編集 広島県教育委員会事務局管理部文化財課
 広島県広島市中区基町9番42号
 TEL 082-513-5023
 発行 広島県教育委員会
 発行日 令和4年3月31日
 印刷 株式会社吳精版印刷